

2021 年度 滋賀医科大学

学修・学生生活実態調査報告書



医学・看護学教育センター

CONTENTS

はじめに	_____	2
調査概要	_____	3
学生生活編	_____	4
I. 回収率	_____	5
II. 生活について	_____	6
III. 交友関係について	_____	22
IV. 学業について	_____	24
V. 図書館の利用について	_____	37
VI. 課外活動について	_____	39
VII. 卒業後の進路について	_____	43
学修状況編	_____	46
自由記述編	_____	65

はじめに

本調査（学生生活実態調査）は、本学における学生生活のうち、「住居・経済生活・交友関係・学内施設の利用・課外活動・卒業後の進路」などについてその実態を把握し、学生生活の一層の向上及び修学上の支援、福利厚生改善等への参考資料とすることを目的として2006年度に始まり、今回で16回目の実施となりました。2019年度調査から、従来医療人育成教育研究センター教育方法改善部門（医学・看護学教育センター内に包括）において実施していた「学習に関する実態調査」と統合され、学生の皆さんの様子を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に把握することを可能としました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大状況下での調査となり、全体として約30%の回答に留まりましたが、今後も、学生の皆さんの意見をより多く集められるよう、調査方法などを改善していきたいと考えています。

前回に引き続き、自由記述分は記名式としましたが、今回も大学の抱える問題点を指摘し、それらの改善方法について提案してくれている記述が数多くみられました。寄せられた意見に対して、大学の各部署でしっかりと検討し、対応を進めていきます。

滋賀医科大学は常に学生の皆さんの教育や支援を主軸として施設や各種制度の改善を行っており、今年度には一般教養棟の改修や学生ラウンジの新設などを行いました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、昨年度に引き続きハイフレックス講義を実施しました。こうした学内や社会情勢の変化に呼応して、学生の皆さんの要望にも変化が出てくると思います。

今後も、学生の皆さんからの様々な要望や意見を大学運営に取り込み、適切に学生支援に反映することで、修学上の支援や福利厚生改善、学生生活の向上をめざしていきます。

医学・看護学教育センター長

松浦 博

調査概要

本調査は、平成 16 年 7 月に医療人育成教育研究センター学生生活支援部門会議内に設置された専門委員会において検討を行い、平成 18 年度から開始した。以降、毎年実施し、滋賀医科大学における学生生活のうち、「住居・経済生活・交友関係・学内施設の利用・課外活動・卒業後の進路」などについてその実態を把握し、学生生活の一層の向上及び就学上の指導、福利厚生への改善等への参考資料とすることを目的としている。

また、2018 年度調査から、従来医療人育成教育研究センター教育方法改善部門において実施していた「学習に関する実態調査」と統合され、本学学生の実態を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に捉えることを可能とした。

調査期間

2021 年 4 月 1 日（木）～2021 年 5 月 7 日（金）

調査方法

調査はマークシートと記名式の自由記述にて行い、4 月の在学生オリエンテーション時に調査票を配付した。

調査対象

2021 年 4 月 1 日時点で在籍している学部学生（令和 3 年度新入生及び休学者は除く）。

※ 設問の内容を踏まえ、調査対象から新入生及び休学者を除いた全学部学生とした。

2021 年 4 月 1 日現在

調査対象	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	計
医学科	111	124	121	110	119	585
看護学科	61	58	62	—	—	181
計	172	182	183	110	119	766

調査項目

次の 9 項目で構成

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1)基本項目 | (2)生活について |
| (3)交友関係について | (4)学業について |
| (5)図書館の利用について | (6)課外活動について |
| (7)卒業後の進路について | (8)「学修に関する実態調査」調査項目（記述式） |
| (9)大学への意見・要望（自由記述） | |

2021 年度

学修・学生生活実態調査

学生生活編

学生生活編では、「基本項目・生活について・交友関係について・学業について・図書館の利用について・課外活動について・卒業後の進路について」の学生生活に関連する7項目からなる選択式の設問を統計的に集計した結果を項目ごとに掲載しています。

I. 回収率

今年度の調査票回収率は、24.8%（医学科 19.5%、看護学科 42.0%）であった。

学科	学年	学生数	男子提出数	女子提出数	総提出数	提出率
医学科	1年生	-	-	-	-	-
	2年生	111	16	14	30	27.0%
	3年生	124	9	3	12	9.7%
	4年生	121	18	25	43	35.5%
	5年生	110	0	0	0	0.0%
	6年生	119	17	12	29	24.4%
医学科計	小計	585	60	54	114	19.5%
看護学科	1年生	-	-	-	-	-
	2年生	61	0	44	44	72.1%
	3年生	58	0	9	9	15.5%
	4年生	62	0	23	23	37.1%
看護学科計	小計	181	0	76	76	42.0%
全体計		766	60	130	190	24.8%

(参考：入学区分別)

学科	学年	推薦		前期	編入	計
		一般	地域			
医学科	1年生	—	—	—	—	0
	2年生	8	3	9	10	30
	3年生	0	3	5	4	12
	4年生	7	3	24	9	43
	5年生	0	0	0	0	0
	6年生	8	4	14	3	29
	小計	23	13	52	26	114
看護学科	1年生	—	—	—	—	0
	2年生	9	—	35	—	44
	3年生	2	—	7	0	9
	4年生	5	—	18	0	23
	小計	16	—	60	0	76
全体計		39	13	112	26	190

Ⅱ. 生活について

<家庭の年収>

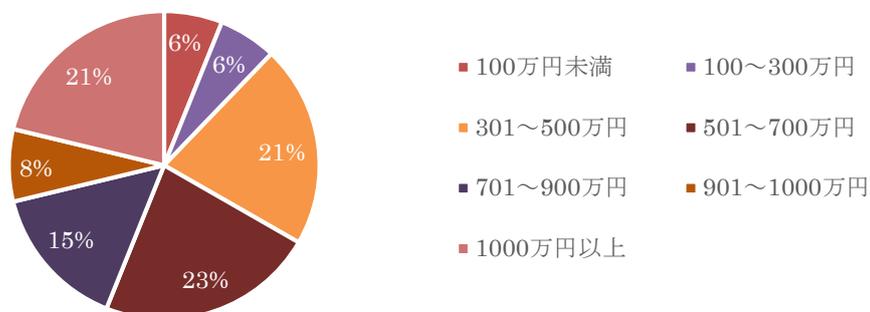
医学科は年収 1000 万円以上、看護学科は年収 501～700 万円の世帯が最も多かった。

	医学科		看護学科		計	
100万円未満	25	22.9%	4	6.1%	29	16.6%
100～300万円	7	6.4%	4	6.1%	11	6.3%
301～500万円	9	8.3%	14	21.2%	23	13.1%
501～700万円	19	17.4%	15	22.7%	34	19.4%
701～900万円	6	5.5%	10	15.2%	16	9.1%
901～1000万円	7	6.4%	5	7.6%	12	6.9%
1000万円以上	36	33.0%	14	21.2%	50	28.6%
計	109	100.0%	66	100.0%	175	100.0%

家庭の年収（医学科）



家庭の年収（看護学科）

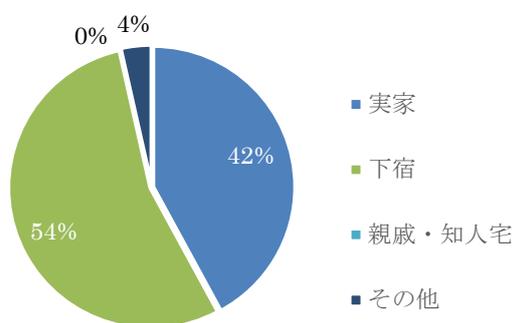


<住居>

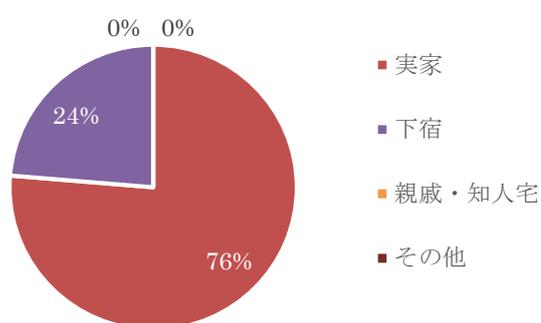
医学科では半数以上の学生が下宿をしており、一方で看護学科では自宅通学が7割を超えていた。

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
実家	48	42.1%	58	76.3%	106	55.8%
下宿	62	54.4%	18	23.7%	80	42.1%
親戚・知人宅	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	4	3.5%	0	0.0%	4	2.1%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%

住居（医学科）



住居（看護学科）

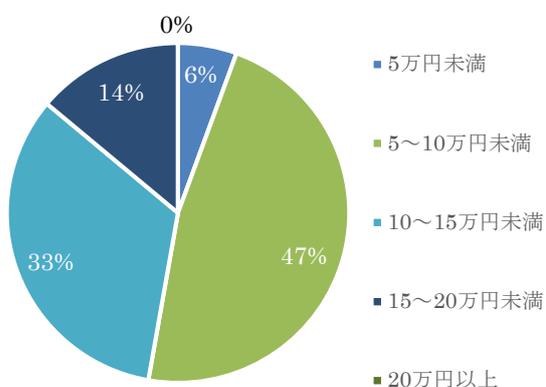


<生活費・仕送り>

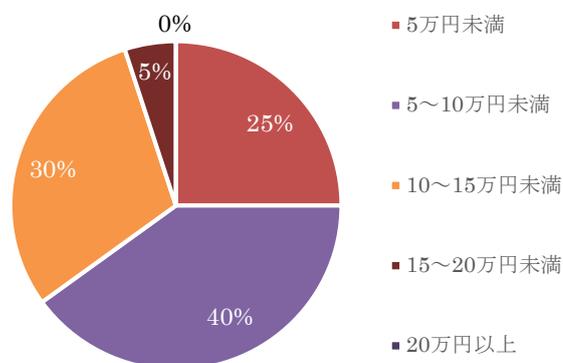
下宿生における1ヶ月の生活費は5～10万円が大多数であり、保護者からの仕送りは医学科が5万円未満、看護学科は5～10万円未満が最も多い状況であった。

	1ヶ月の生活費						1ヶ月の仕送り					
	医学科		看護学科		計		医学科		看護学科		計	
5万円未満	4	5.6%	5	25.0%	9	9.8%	26	40.0%	8	44.4%	34	41.0%
5～10万円未満	34	47.2%	8	40.0%	42	45.7%	23	35.4%	10	55.6%	33	39.8%
10～15万円未満	24	33.3%	6	30.0%	30	32.6%	12	18.5%	0	0.0%	12	14.5%
15～20万円未満	10	13.9%	1	5.0%	11	12.0%	4	6.2%	0	0.0%	4	4.8%
20万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	72	100.0%	20	100.0%	92	100.0%	65	100.0%	18	100.0%	83	100.0%

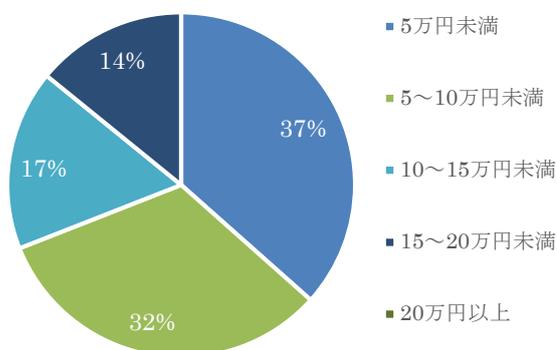
1ヶ月の生活費（医学科）



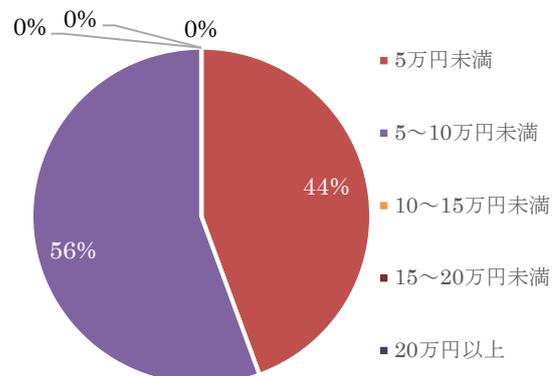
1ヶ月の生活費（看護学科）



1ヶ月の仕送り（医学科）



1ヶ月の仕送り（看護学科）



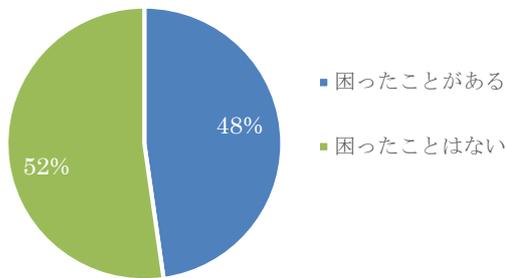
<一人暮らしで困った経験と援助>

下宿生のうち医学科の学生、看護学科の学生ともに半数近くが、病気の時等に困った経験があり、困った際に援助してもらった相手を尋ねると、医学科の学生では半数超、看護学科の学生では7割超が家族や友人の援助を受けることができているようであるが、一方で、医学科の学生では約半数、看護学科の学生では約3割の学生は援助を受けられていないようである。

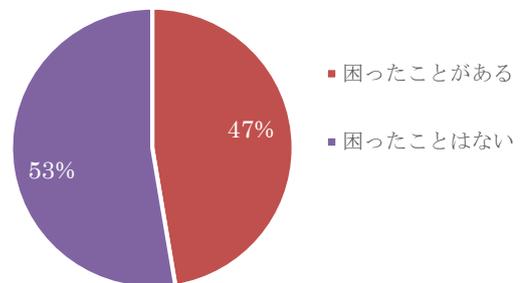
(困った経験)

	医学科		看護学科		計	
困ったことがある	32	47.8%	9	47.4%	41	47.7%
困ったことはない	35	52.2%	10	52.6%	45	52.3%
計	67	100.0%	19	100.0%	86	100.0%

困った経験 (医学科)



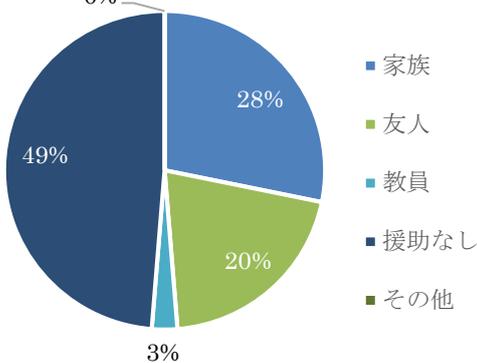
困った経験 (看護学科)



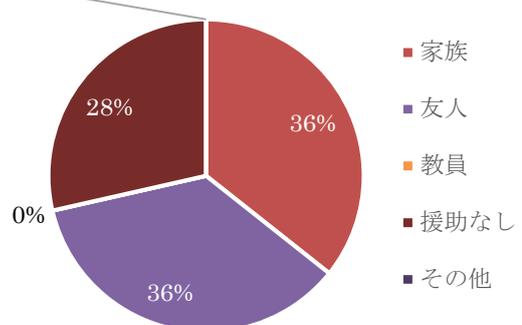
(援助者)

	医学科		看護学科		計	
家族	11	28.2%	5	35.7%	16	30.2%
友人	8	20.5%	5	35.7%	13	24.5%
教員	1	2.6%	0	0.0%	1	1.9%
援助なし	19	48.7%	4	28.6%	23	43.4%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	39	100.0%	14	100.0%	53	100.0%

援助者 (医学科)



援助者 (看護学科)



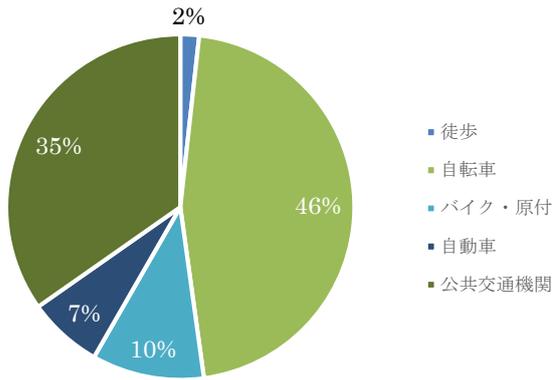
<通学方法等>

通学方法については、医学科では「自転車」、次いで「公共交通機関」が多く、看護学科では「公共交通機関」が半数以上を占めている。なお、通学時間については20分未満の学生が両学科とも最も多い。

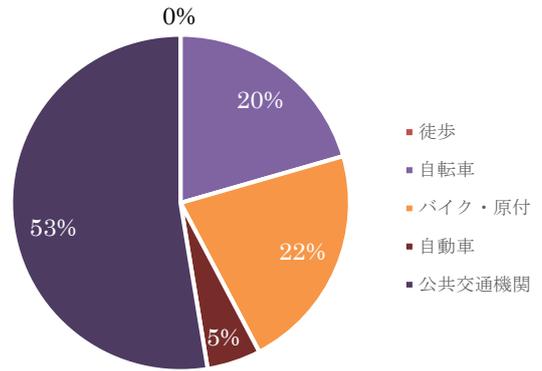
また、下校時間については、ほとんどの学生が22時までには下校していることがわかるが、これは福利厚生施設や体育施設の利用時間を22時までとしていることや、瀬田駅までの最終バスが22時半前後であることが主な要因であると考えられる。

		医学科		看護学科		計	
通学方法	徒歩	2	1.7%	0	0.0%	2	1.0%
	自転車	53	46.1%	16	20.5%	69	35.8%
	バイク・原付	12	10.4%	17	21.8%	29	15.0%
	自動車	8	7.0%	4	5.1%	12	6.2%
	公共交通機関	40	34.8%	41	52.6%	81	42.0%
	計	115	100.0%	78	100.0%	193	100.0%
通学時間	20分未満	56	49.6%	26	34.2%	82	43.4%
	20～40分未満	21	18.6%	11	14.5%	32	16.9%
	40～60分未満	11	9.7%	10	13.2%	21	11.1%
	60～90分未満	18	15.9%	17	22.4%	35	18.5%
	90～120分未満	5	4.4%	11	14.5%	16	8.5%
	120分以上	2	1.8%	1	1.3%	3	1.6%
	計	113	100.0%	76	100.0%	189	100.0%
下校時間	16時台	13	11.4%	14	18.4%	27	14.2%
	17時台	33	28.9%	38	50.0%	71	37.4%
	18時台	36	31.6%	21	27.6%	57	30.0%
	19時台	12	10.5%	0	0.0%	12	6.3%
	20時台	10	8.8%	2	2.6%	12	6.3%
	21時台	6	5.3%	0	0.0%	6	3.2%
	22時台	2	1.8%	0	0.0%	2	1.1%
	23時台	2	1.8%	1	1.3%	3	1.6%
	24時以降	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%	

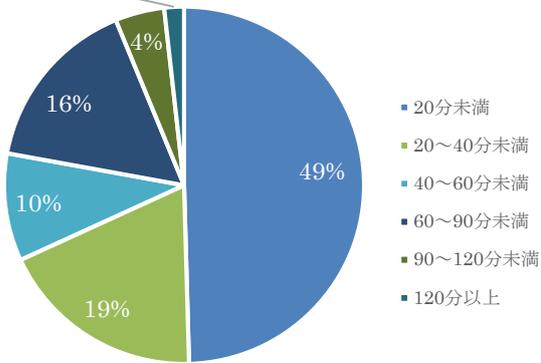
通学方法（医学科）



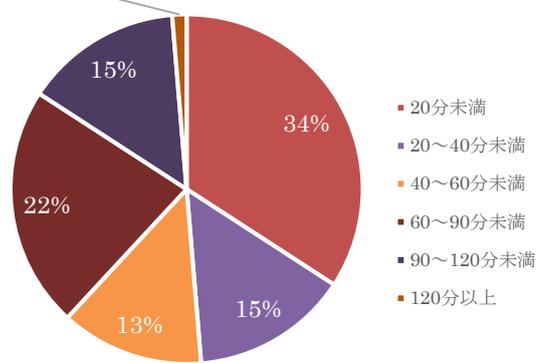
通学方法（看護学科）



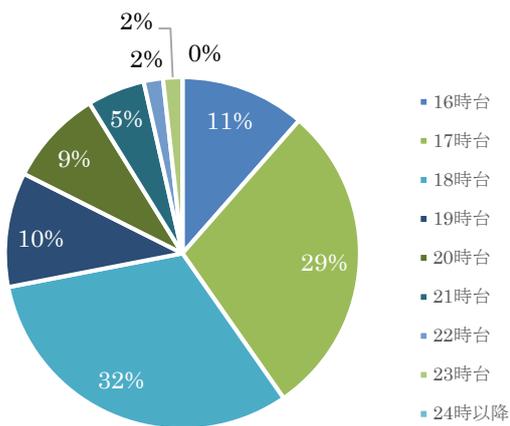
通学時間（医学科）



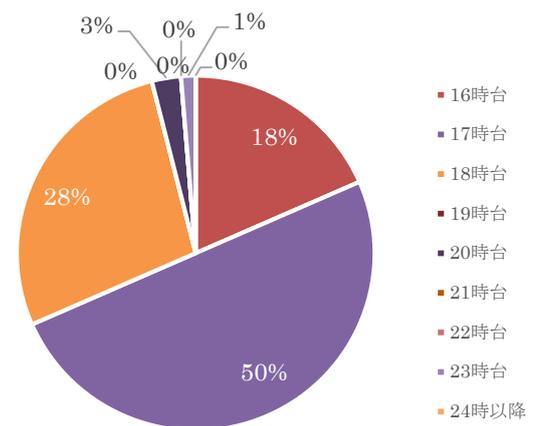
通学時間（看護学科）



下校時間（医学科）



下校時間（看護学科）

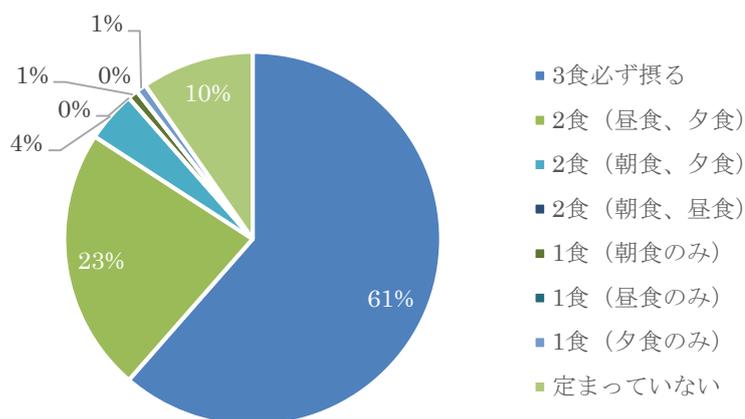


<食事>

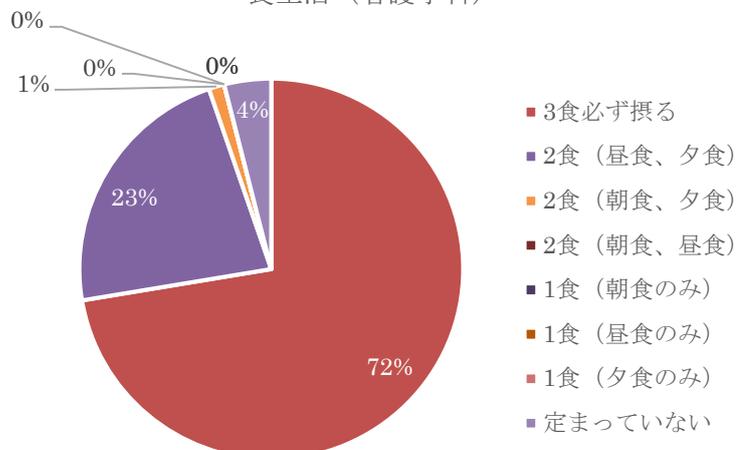
医学科では6割超、看護学科では7割超の学生が3食摂取している一方で、1割弱の学生は食事の回数が定まっていないとの結果であった。

	医学科		看護学科		計	
3食必ず摂る	70	61.4%	55	72.4%	125	65.8%
2食（昼食、夕食）	26	22.8%	17	22.4%	43	22.6%
2食（朝食、夕食）	5	4.4%	1	33.3%	6	3.2%
2食（朝食、昼食）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（朝食のみ）	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
1食（昼食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（夕食のみ）	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
定まっていない	11	9.6%	3	3.9%	14	7.4%
計	114	100%	76	100.0%	190	100.0%

食生活（医学科）



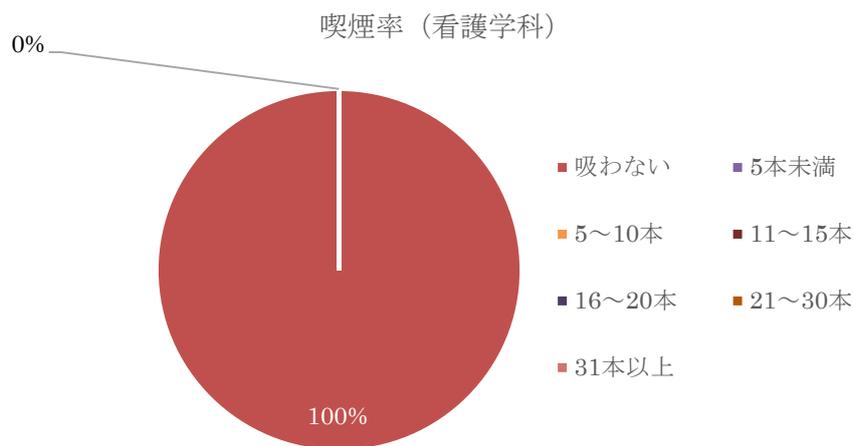
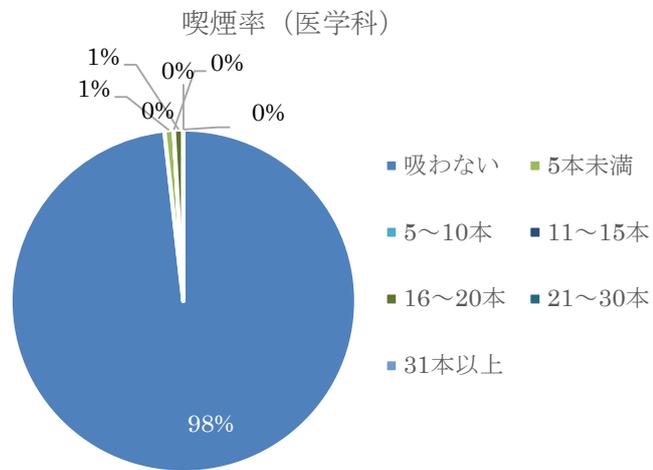
食生活（看護学科）



<喫煙>

100%に近い学生が喫煙をしていないとの結果であった。

	医学科		看護学科		計	
吸わない	112	98.2%	76	100.0%	188	98.9%
5本未満	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
5～10本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11～15本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16～20本	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
21～30本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
31本以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%



<アルバイト>

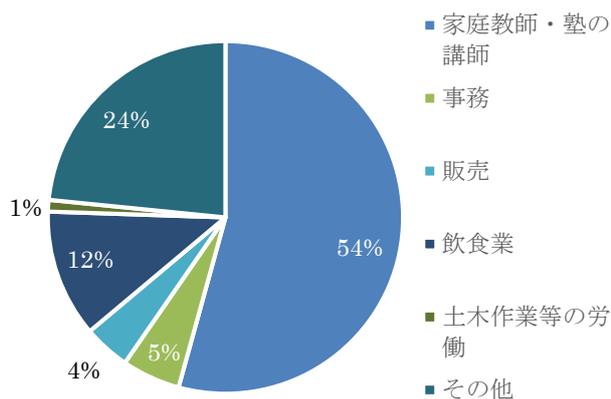
アルバイトの職種は、医学科では「家庭教師・塾講師」、看護学科では「販売・飲食業」が半数超を占めていた。1週間の労働時間については、医学科で4～8時間未満、看護学科で8～12時間未満が最も多かった。それに伴い、得られる給料が医学科では看護学科よりも若干少なくなっている。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染拡大前の一昨年度と比較してアルバイトの労働時間が減少している状況が見受けられた。

また、両学科生ともアルバイトの目的としては、課外活動等費用が多数を占めており、医学科の学生では生活費も同率で高い割合であった。

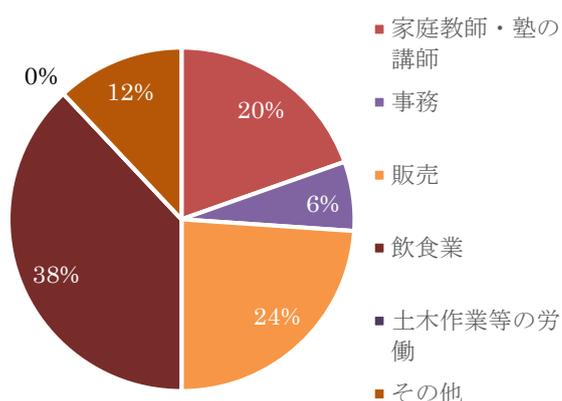
(アルバイトの種類)

	医学科		看護学科		計	
家庭教師・塾の講師	51	54.3%	18	19.6%	69	37.1%
事務	5	5.3%	6	6.5%	11	5.9%
販売	4	4.3%	22	23.9%	26	14.0%
飲食業	11	11.7%	35	38.0%	46	24.7%
土木作業等の労働	1	1.1%	0	0.0%	1	0.5%
その他	22	23.4%	11	12.0%	33	17.7%
計	94	100.0%	92	100.0%	186	100.0%

アルバイトの種類 (医学科)



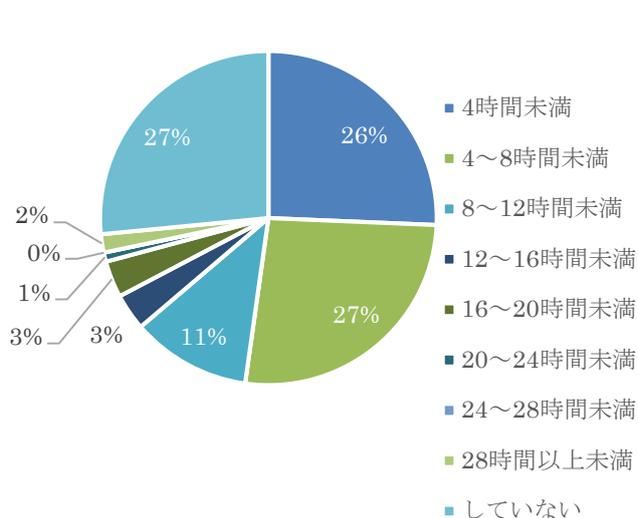
アルバイトの種類 (看護学科)



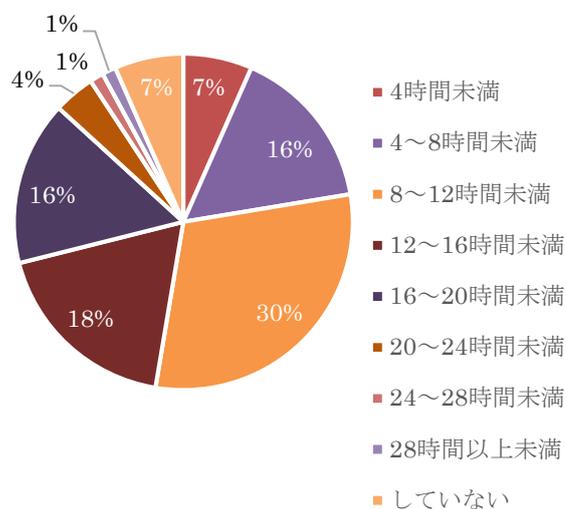
(1 週間の就業時間)

	医学科		看護学科		計	
4時間未満	29	25.7%	5	6.6%	34	18.0%
4～8時間未満	30	26.5%	12	15.8%	42	22.2%
8～12時間未満	13	11.5%	23	30.3%	36	19.0%
12～16時間未満	4	3.5%	14	18.4%	18	9.5%
16～20時間未満	4	3.5%	12	15.8%	16	8.5%
20～24時間未満	1	0.9%	3	3.9%	4	2.1%
24～28時間未満	0	0.0%	1	1.3%	1	0.5%
28時間以上未満	2	1.8%	1	1.3%	3	1.6%
していない	30	26.5%	5	6.6%	35	18.5%
計	113	100.0%	76	100.0%	189	100.0%

アルバイトに費やす時間 (医学科)

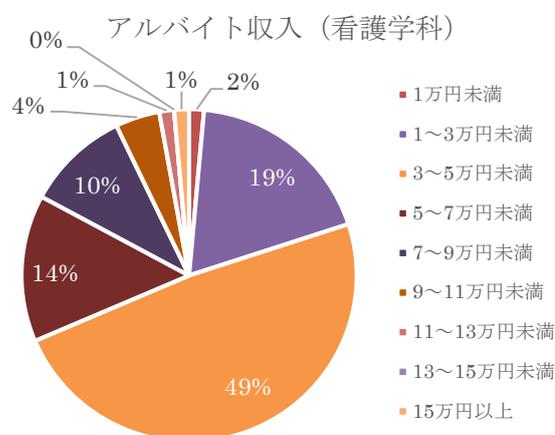
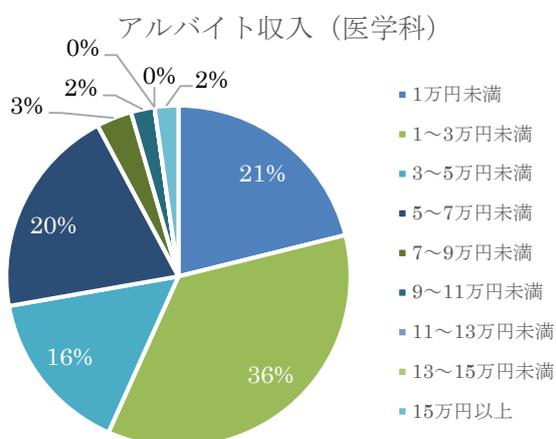


アルバイトに費やす時間 (看護学科)



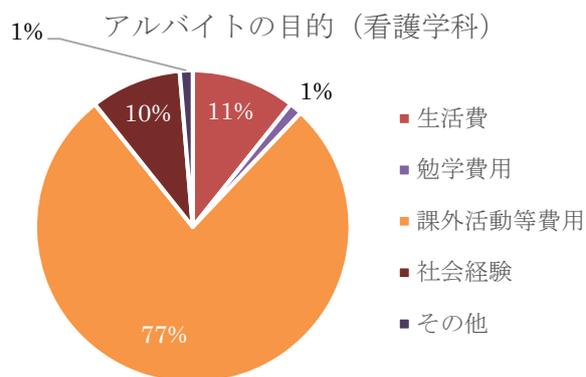
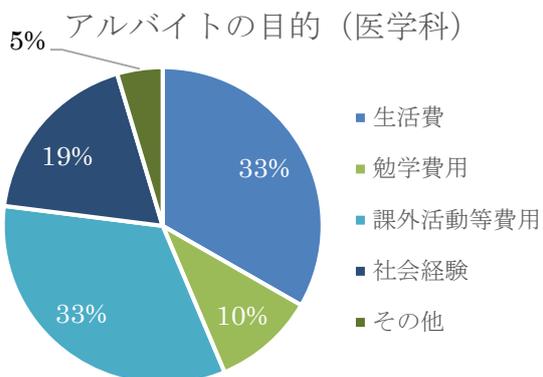
(1ヶ月の給料)

	医学科		看護学科		計	
1万円未満	19	21.1%	1	1.4%	20	12.5%
1～3万円未満	32	35.6%	13	18.6%	45	28.1%
3～5万円未満	14	15.6%	34	48.6%	48	30.0%
5～7万円未満	18	20.0%	10	14.3%	28	17.5%
7～9万円未満	3	3.3%	7	10.0%	10	6.3%
9～11万円未満	2	2.2%	3	4.3%	5	3.1%
11～13万円未満	0	0.0%	1	1.4%	1	0.6%
13～15万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15万円以上	2	2.2%	1	1.4%	3	1.9%
計	90	100.0%	70	100.0%	160	100.0%



(アルバイトの目的)

	医学科		看護学科		計	
生活費	29	33.3%	8	10.7%	37	22.8%
勉学費用	9	10.3%	1	1.3%	10	6.2%
課外活動等費用	29	33.3%	58	77.3%	87	53.7%
社会経験	16	18.4%	7	9.3%	23	14.2%
その他	4	4.6%	1	1.3%	5	3.1%
計	87	100.0%	75	100.0%	162	100.0%

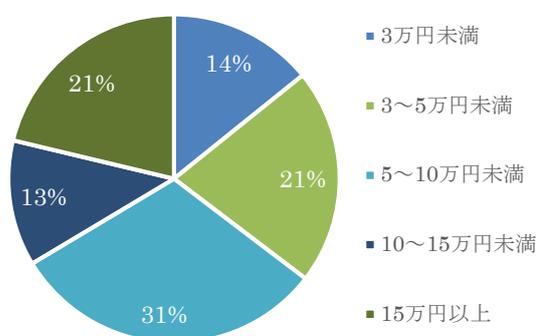


<勉強費用>

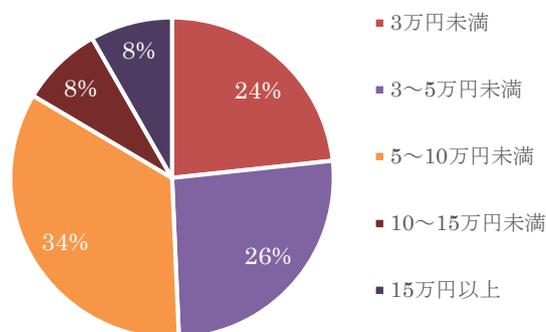
昨年度から1年間で教科書・参考書にかかった費用は、3～10万程度という回答が医学科で全体の約半数、看護学科は約6割を占めているが、医学科では3万円未満から15万円以上まで比較的まんべんなく分布していることがわかった。

	医学科		看護学科		計	
3万円未満	16	14.2%	17	23.3%	33	17.7%
3～5万円未満	24	21.2%	19	26.0%	43	23.1%
5～10万円未満	35	31.0%	25	34.2%	60	32.3%
10～15万円未満	14	12.4%	6	8.2%	20	10.8%
15万円以上	24	21.2%	6	8.2%	30	16.1%
計	113	100.0%	73	100.0%	186	100.0%

勉強費用（医学科）



勉強費用（看護学科）



<パソコン利用率・SNS>

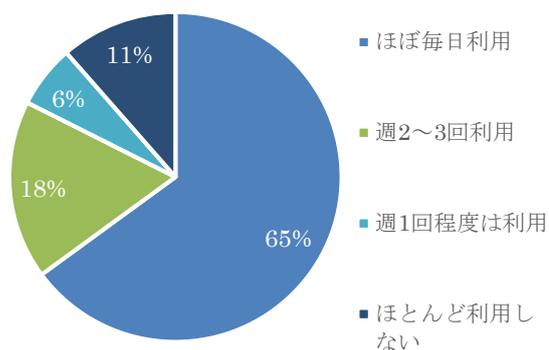
医学科では「ほぼ毎日利用」を選択した学生が最も多く、パソコンの利用率は比較的高いが、看護学科では「週2～3回利用」を選択した学生が約4割を占め、週1回以下の割合も比較的高く、パソコンの利用率は低い傾向にある。

また、利用しているSNSの種類に関する設問では、医学科学生ではTwitterを、看護学科学生ではInstagramを利用しているとの回答が最も多かった。

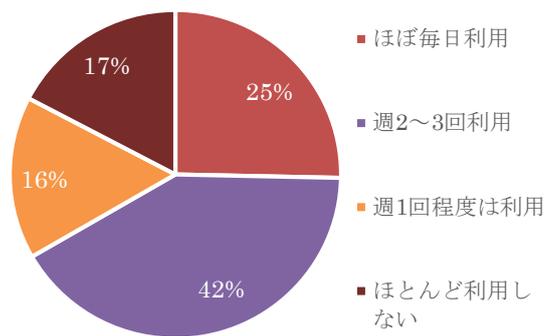
(パソコン利用率)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日利用	74	64.9%	19	25.3%	93	49.2%
週2～3回利用	20	17.5%	31	41.3%	51	27.0%
週1回程度は利用	7	6.1%	12	16.0%	19	10.1%
ほとんど利用しない	13	11.4%	13	17.3%	26	13.8%
計	114	100.0%	75	100.0%	189	100.0%

パソコンの使用頻度（医学科）



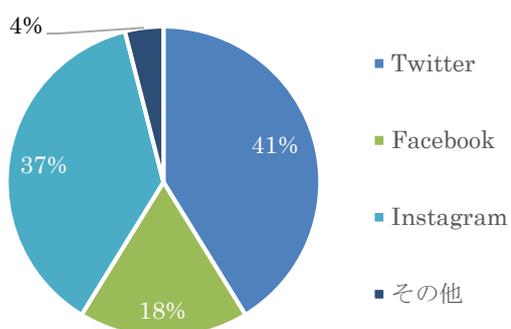
パソコンの使用頻度（看護学科）



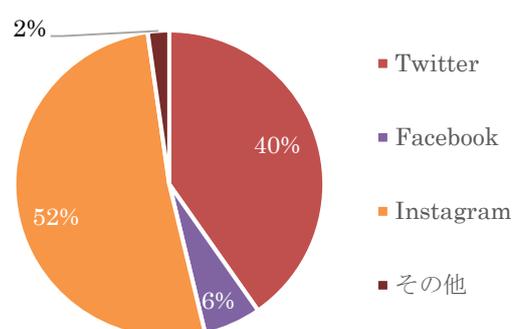
(利用している SNS (複数回答可))

	医学科		看護学科		計	
Twitter	73	41.2%	54	40.3%	127	40.8%
Facebook	31	17.5%	8	6.0%	39	12.5%
Instagram	66	37.3%	69	51.5%	135	43.4%
その他	7	4.0%	3	2.2%	10	3.2%
計	177	100.0%	134	100.0%	311	100.0%

利用している SNS (医学科)



利用している SNS (看護学科)

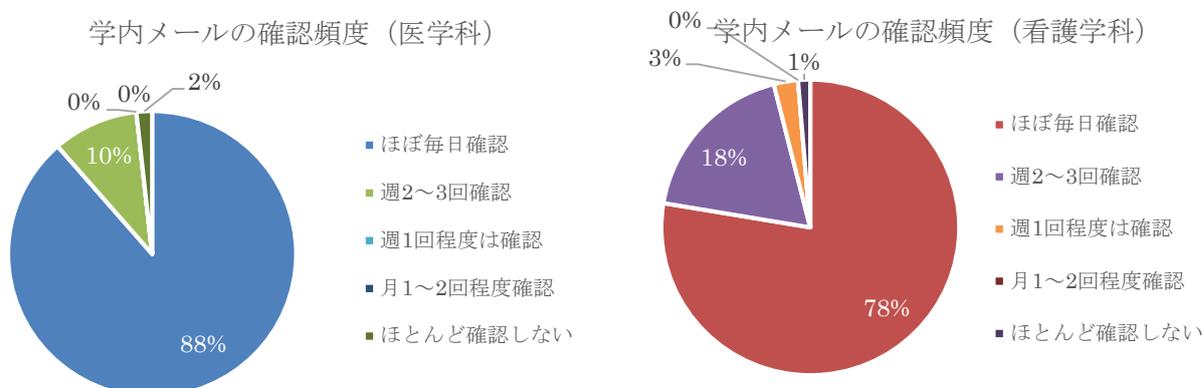


<学内情報の確認頻度>

学内メールの確認頻度は両学科とも約 8 割の学生が「ほぼ毎日」と回答した。一方で、令和 3 年度より学生用掲示板の取扱いを縮小したため、約 8 割の学生が掲示板はほとんど確認しないと回答した。

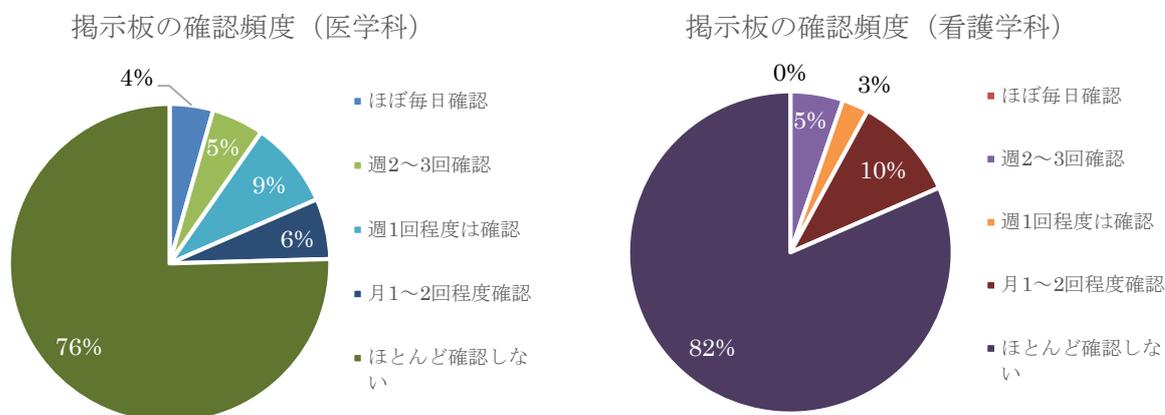
(学内メール)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	101	88.6%	59	77.6%	160	84.2%
週2～3回確認	11	9.6%	14	18.4%	25	13.2%
週1回程度は確認	0	0.0%	2	2.6%	2	1.1%
月1～2回程度確認	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ほとんど確認しない	2	1.8%	1	1.3%	3	1.6%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%



(掲示板)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	5	4.4%	0	0.0%	5	2.6%
週2～3回確認	6	5.3%	4	5.3%	10	5.3%
週1回程度は確認	10	8.8%	2	2.6%	12	6.3%
月1～2回程度確認	7	6.1%	8	10.5%	15	7.9%
ほとんど確認しない	86	75.4%	62	81.6%	148	77.9%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%



<福利棟の利用状況>

食堂については、両学科ともに約5割がほぼ毎日利用している。昨年度より本学では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学科学年毎で昼休みの時間をずらして混雑回避を図っている。例年、看護学科棟から福利棟が遠いこともあり医学科の学生と比較して看護学科の学生の食堂利用率が低いが、混雑回避の取り組みが利用率を上げる一因となっている可能性がある。

購買部については、学科を問わず約半数の学生が週に2～3回以上の頻度で利用している。

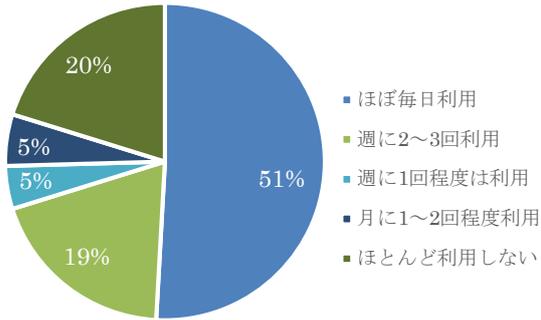
書籍部については、医学科で約6割、看護学科で約8割の学生がほとんど利用しないと回答した。

(生協利用頻度)

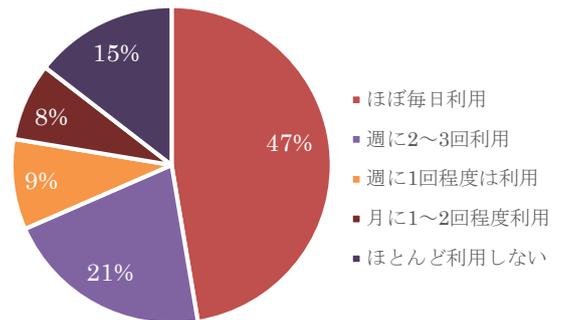
		医学科		看護学科		計	
食堂	ほぼ毎日利用	58	50.9%	36	47.4%	94	49.5%
	週に2～3回利用	22	19.3%	16	21.1%	38	20.0%
	週に1回程度は利用	5	4.4%	7	9.2%	12	6.3%
	月に1～2回程度利用	6	5.3%	6	7.9%	12	6.3%
	ほとんど利用しない	23	20.2%	11	14.5%	34	17.9%
	計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%
購買部	ほぼ毎日利用	16	14.0%	14	18.4%	30	15.8%
	週に2～3回利用	39	34.2%	23	30.3%	62	32.6%
	週に1回程度は利用	21	18.4%	21	27.6%	42	22.1%
	月に1～2回程度利用	19	16.7%	10	13.2%	29	15.3%
	ほとんど利用しない	19	16.7%	8	10.5%	27	14.2%
	計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%
書籍部	ほぼ毎日利用	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
	週に2～3回利用	3	2.6%	0	0.0%	3	1.6%
	週に1回程度は利用	5	4.4%	2	2.6%	7	3.7%
	月に1～2回程度利用	37	32.5%	13	17.1%	50	26.3%
	ほとんど利用しない	68	59.6%	61	80.3%	129	67.9%
	計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%



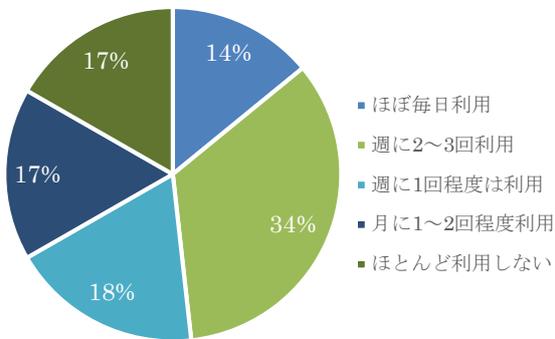
食堂の利用頻度（医学科）



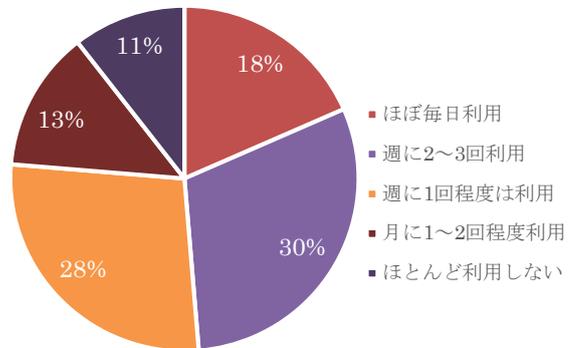
食堂の利用頻度（看護学科）



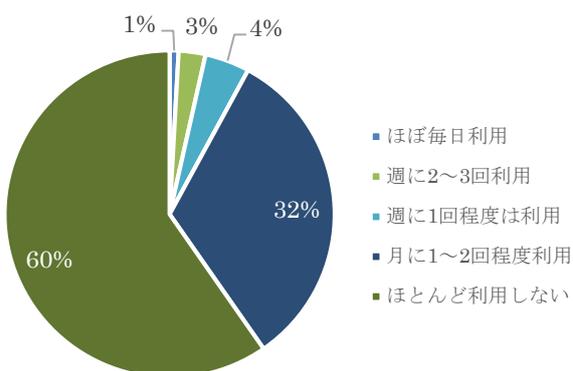
購買部の利用頻度（医学科）



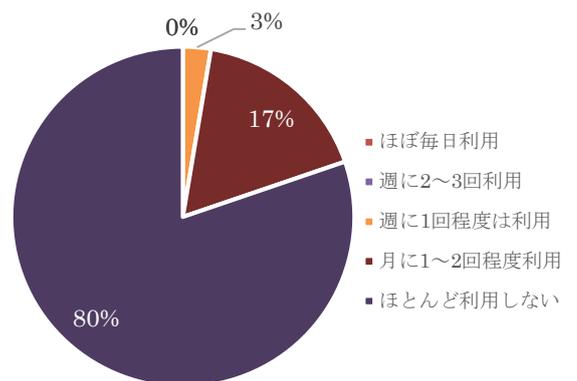
購買部の利用頻度（看護学科）



書籍部の利用頻度（医学科）



書籍部の利用頻度（看護学科）

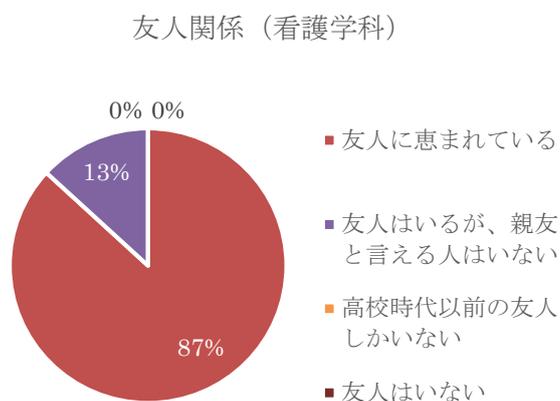
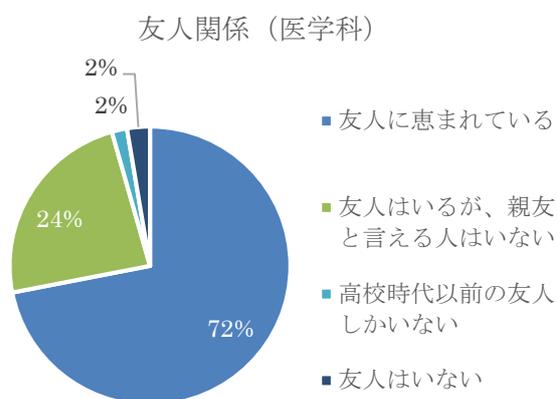


Ⅲ. 交友関係について

医学科では7割超、看護学科では8割超の学生が友人に恵まれていると回答しており、プライベートなことについて相談しやすい人は、両学科とも友人、恋人が最も多く、次いで家族との回答が多かった。

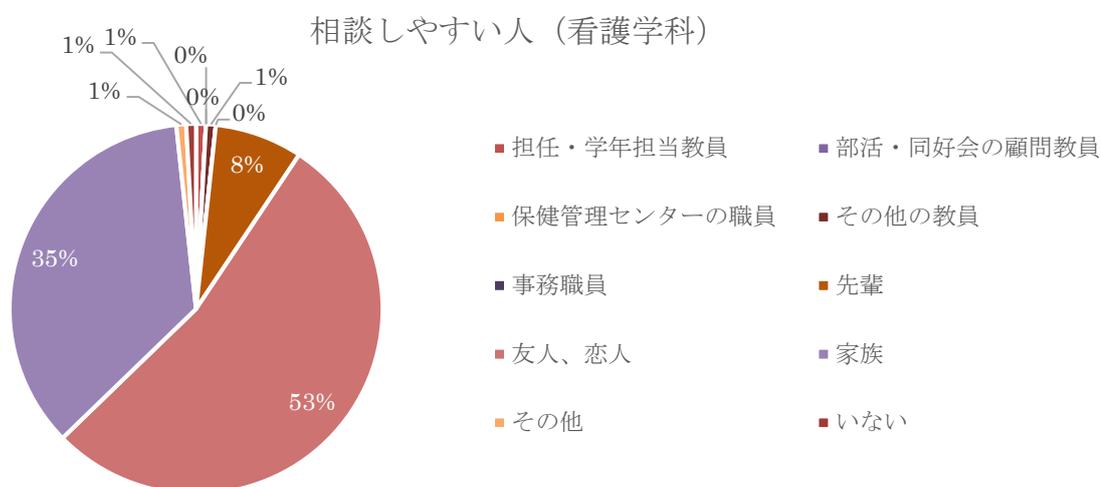
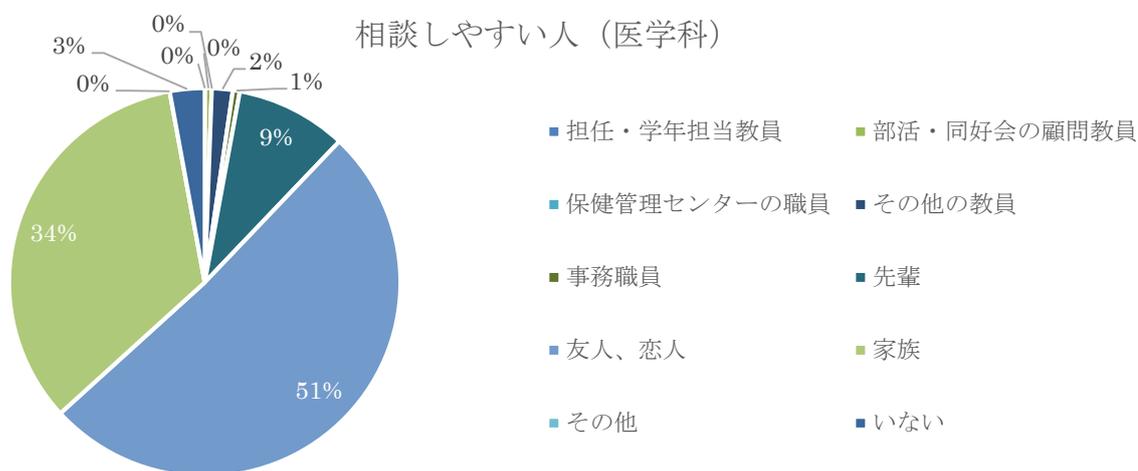
(友人の有無)

	医学科		看護学科		計	
友人に恵まれている	82	71.9%	66	86.8%	148	77.9%
友人はいるが、親友と言える人はいない	27	23.7%	10	13.2%	37	19.5%
高校時代以前の友人しかいない	2	1.8%	0	0.0%	2	1.1%
友人はいない	3	2.6%	0	0.0%	3	1.6%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%



(相談しやすい人 (複数回答可))

	医学科		看護学科		計	
担任・学年担当教員	0	0.0%	1	0.8%	1	0.3%
部活・同好会の顧問教員	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
保健管理センターの職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の教員	3	1.7%	1	0.8%	4	1.4%
事務職員	1	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
先輩	16	9.2%	9	7.6%	25	8.6%
友人、恋人	89	51.1%	63	53.4%	152	52.1%
家族	59	33.9%	42	35.6%	101	34.6%
その他	0	0.0%	1	0.8%	1	0.3%
いない	5	2.9%	1	0.8%	6	2.1%
計	174	100.0%	118	100.0%	292	100.0%



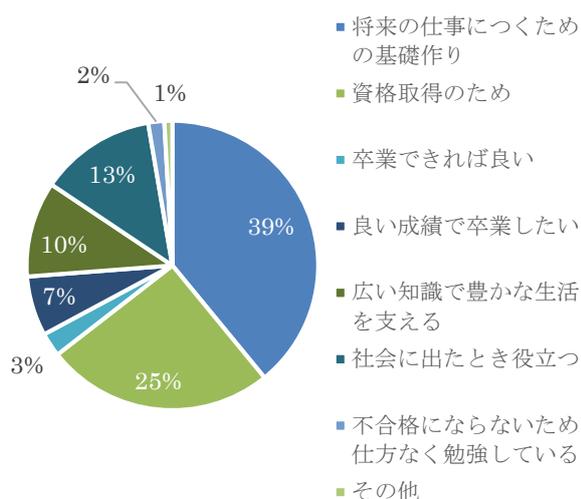
IV. 学業について

<大学で学ぶ目的>

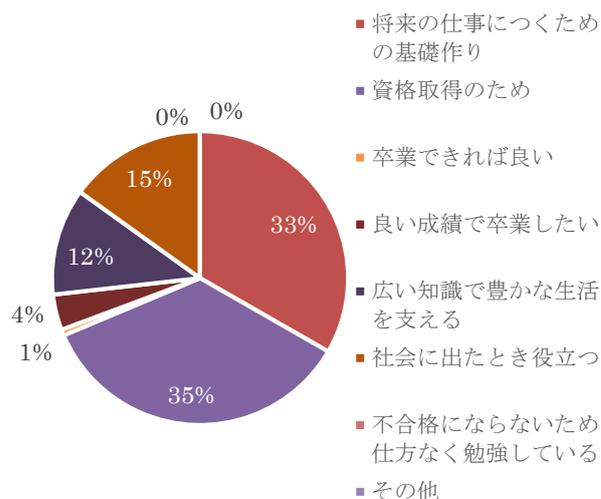
大学で学ぶ目的を問う設問では、両学科とも「将来の仕事につくための基礎作り」「資格取得のため」の回答率が7割近く、卒業後を見据え、明確な目的を持って学業に取り組む学生が多いようであった。

	医学科		看護学科		計	
将来の仕事につくための基礎作り	88	39.1%	51	33.3%	139	36.8%
資格取得のため	57	25.3%	54	35.3%	111	29.4%
卒業できれば良い	6	2.7%	1	0.7%	7	1.9%
良い成績で卒業したい	15	6.7%	6	3.9%	21	5.6%
広い知識で豊かな生活を支える	24	10.7%	18	11.8%	42	11.1%
社会に出たとき役立つ	29	12.9%	23	15.0%	52	13.8%
不合格にならないため仕方なく勉強している	4	1.8%	0	0.0%	4	1.1%
その他	2	0.9%	0	0.0%	2	0.5%
計	225	100.0%	153	100.0%	378	100.0%

大学で学ぶ目的（医学科）



大学で学ぶ目的（看護学科）



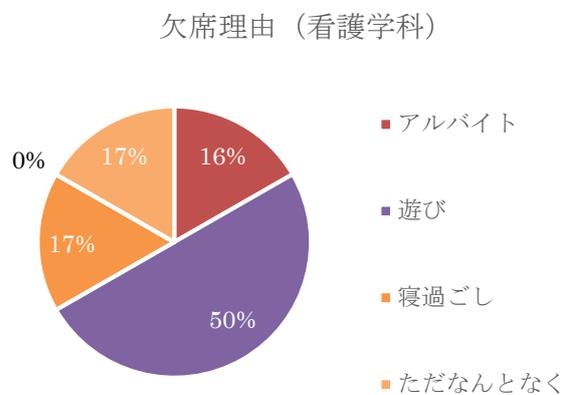
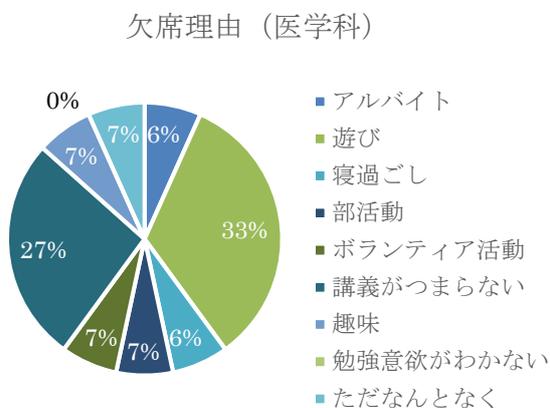
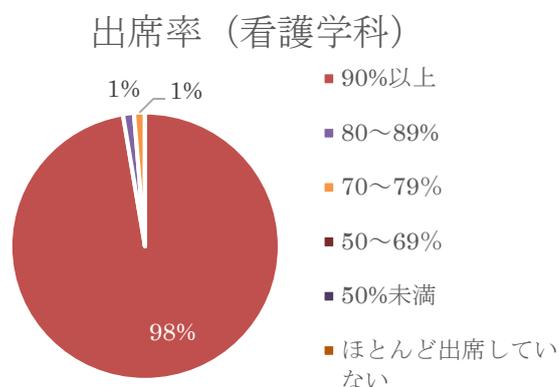
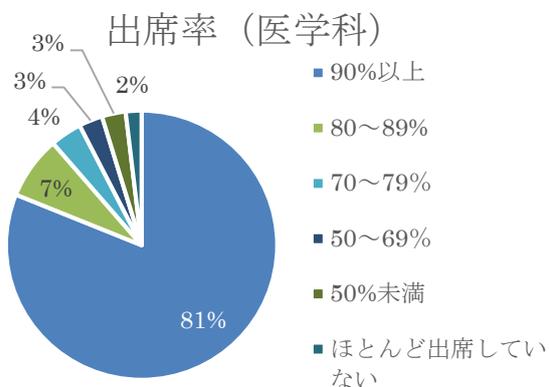
<授業の欠席について>

医学科では8割超、看護学科では回答者全員に近い学生が90%以上授業に出席していると回答したが、看護学科に比べて医学科の方が授業の欠席率は高かった。欠席理由は、医学科では「遊び」「講義がつまらない」の合計が6割、看護学科では5割が「遊び」と回答している。また、自らの欠席についてどう考えるかという問いに対しては、両学科とも「うしろめたい」「自分の責任」の合計が約7割となった。欠席した授業のキャッチアップ方法としては、両学科とも「友人に聞く」との回答が最も多いが、医学科では看護学科よりも「教科書等で自主学習」を行う割合が高かった。

例年と比較してやや欠席の割合が下がっていることは、遠隔形式での講義受講を可能とするハイフレックス講義を行っていることも一因となっている可能性がある。

(出席率・欠席理由)

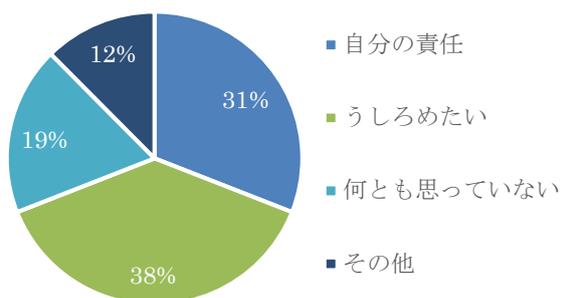
		医学科		看護学科		計	
出席率	90%以上	86	81.1%	74	97.4%	160	87.9%
	80～89%	8	7.5%	1	1.3%	9	4.9%
	70～79%	4	3.8%	1	1.3%	5	2.7%
	50～69%	3	2.8%	0	0.0%	3	1.6%
	50%未満	3	2.8%	0	0.0%	3	1.6%
	ほとんど出席していない	2	1.9%	0	0.0%	2	1.1%
	計	106	100.0%	76	100.0%	182	100.0%
欠席理由	アルバイト	1	6.7%	1	16.7%	2	9.5%
	遊び	5	33.3%	3	50.0%	8	38.1%
	寝過ごし	1	6.7%	1	16.7%	2	9.5%
	部活動	1	6.7%	0	0.0%	1	4.8%
	ボランティア活動	1	6.7%	0	0.0%	1	4.8%
	講義がつまらない	4	26.7%	0	0.0%	4	19.0%
	趣味	1	6.7%	0	0.0%	1	4.8%
	勉強意欲がわからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ただなんとなく	1	6.7%	1	16.7%	2	9.5%
	計	15	100.0%	6	100.0%	21	100.0%



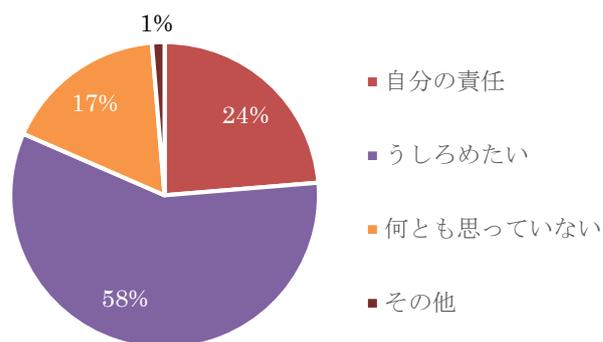
(欠席についての意識・キャッチアップ方法)

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
欠席について	自分の責任	35	31.0%	18	23.7%	53	28.0%
	うしろめたい	43	38.1%	44	57.9%	87	46.0%
	何とも思っていない	21	18.6%	13	17.1%	34	18.0%
	その他	14	12.4%	1	1.3%	15	7.9%
	計	113	100.0%	76	100.0%	189	100.0%
キャッチアップ	友人に聞いた	51	51.0%	58	81.7%	109	63.7%
	教員に聞いた	3	3.0%	0	0.0%	3	1.8%
	プリントを読んだ	17	17.0%	9	12.7%	26	15.2%
	教科書等で自主学習	27	27.0%	4	5.6%	31	18.1%
	何もしなかった	2	2.0%	0	0.0%	2	1.2%
	計	100	100.0%	71	100.0%	171	100.0%

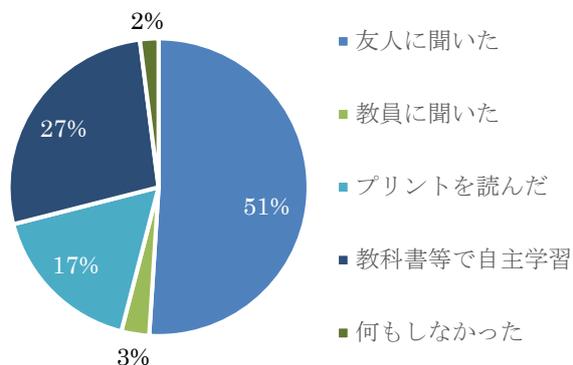
欠席についての所感 (医学科)



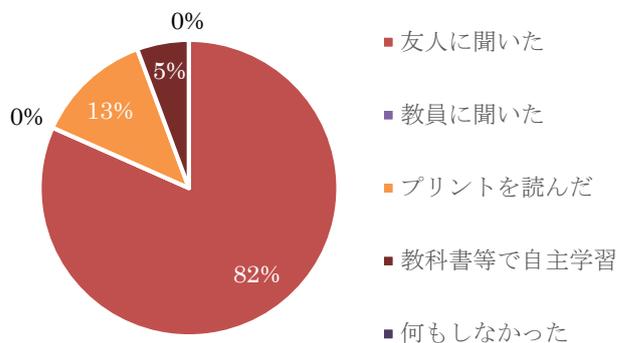
欠席についての所感 (看護学科)



キャッチアップ (医学科)



キャッチアップ (看護学科)



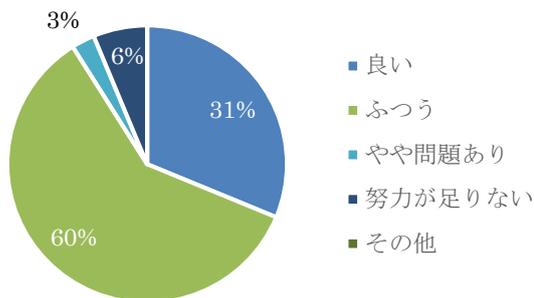
<学習態度について>

自らの学習態度について自己評価を行う設問では、両学科とも「ふつう」が6割、次いで「良い」が3割程度と比較的高い評価を行っている。一方で、現在の学習態度で将来の希望が実現できそうかはわからないとの回答が約半数を占めた。

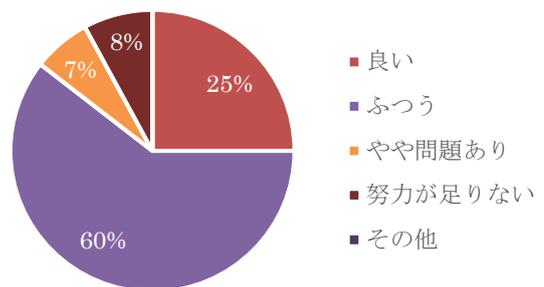
(学習態度の自己評価・将来の希望実現)

		医学科		看護学科		計	
学習態度	良い	35	31.3%	19	25.0%	54	28.7%
	ふつう	67	59.8%	46	60.5%	113	60.1%
	やや問題あり	3	2.7%	5	6.6%	8	4.3%
	努力が足りない	7	6.3%	6	7.9%	13	6.9%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	112	100.0%	76	100.0%	188	100.0%
希望 実現	はい	50	44.6%	31	42.5%	81	43.8%
	いいえ	8	7.1%	8	11.0%	16	8.6%
	わからない	54	48.2%	34	46.6%	88	47.6%
	計	112	100.0%	73	100.0%	185	100.0%

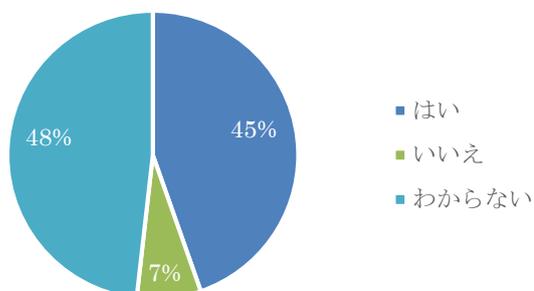
学習態度（医学科）



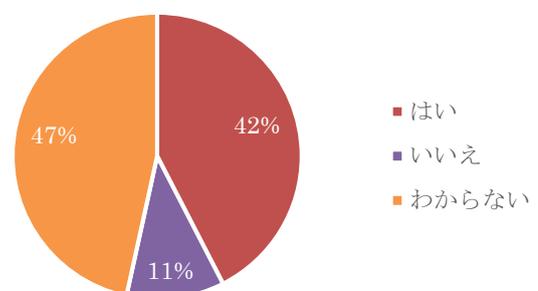
学習態度（看護学科）



現在の学習態度で将来の希望の実現
ができそうか（医学科）



現在の学習態度で将来の希望の実現
ができそうか（看護学科）



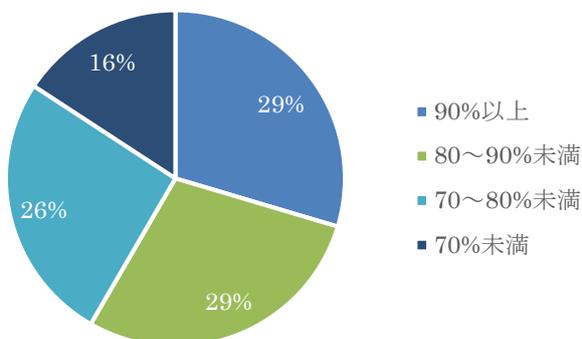
<授業内容の理解>

授業内容については、両学科とも大半の学生は理解できているようであるが、理解度は70%未満であると回答した学生が両学科とも約1割存在している。授業内容が理解できない場合は、両学科とも約8割の学生が「友人や先輩に聞く」「自分で勉強する」と回答した。教員に質問しない理由としては「教員が忙しそう」「質問しにくい雰囲気」が多く挙げられ、医学科では前者、看護学科では後者の回答率がそれぞれ高かった。

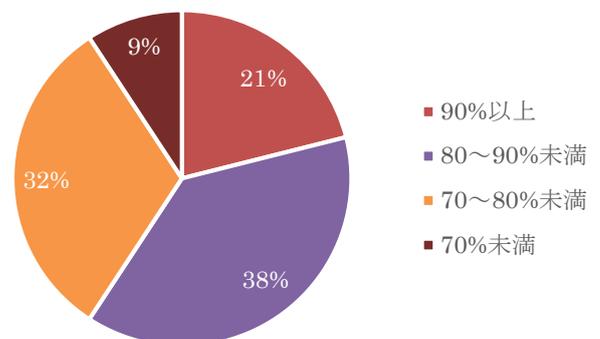
(授業内容の理解等)

		医学科		看護学科		計	
理解 できる 割合	90%以上	32	29.6%	16	21.1%	48	26.1%
	80～90%未満	31	28.7%	29	38.2%	60	32.6%
	70～80%未満	28	25.9%	24	31.6%	52	28.3%
	70%未満	17	15.7%	7	9.2%	24	13.0%
	計	108	100.0%	76	100.0%	184	100.0%
理解 できない 場合	授業中に聞く	12	10.7%	6	7.7%	18	9.5%
	授業後に聞く	12	10.7%	13	16.7%	25	13.2%
	友人や先輩に聞く	42	37.5%	43	55.1%	85	44.7%
	自分で勉強する	46	41.1%	16	20.5%	62	32.6%
	計	112	100.0%	78	100.0%	190	100.0%
質問 しない 理由	忙しそう	46	45.1%	20	28.2%	66	38.2%
	質問しにくい雰囲気	27	26.5%	27	38.0%	54	31.2%
	質問すると怒られそう	1	1.0%	1	1.4%	2	1.2%
	連絡方法がわからない	6	5.9%	6	8.5%	12	6.9%
	聞きに行こうと思わない	22	21.6%	17	23.9%	39	22.5%
	計	102	100.0%	71	100.0%	173	100.0%

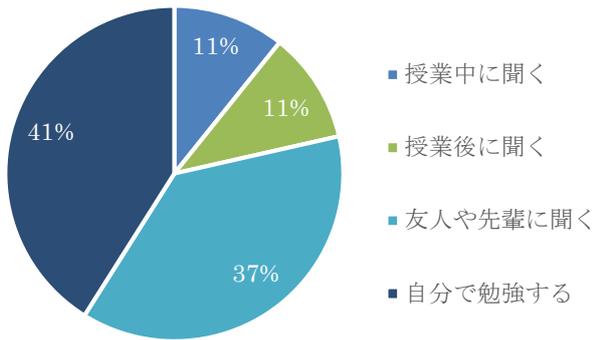
理解できる割合 (医学科)



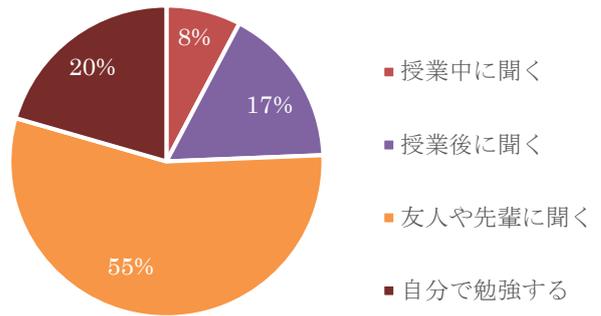
理解できる割合 (看護学科)



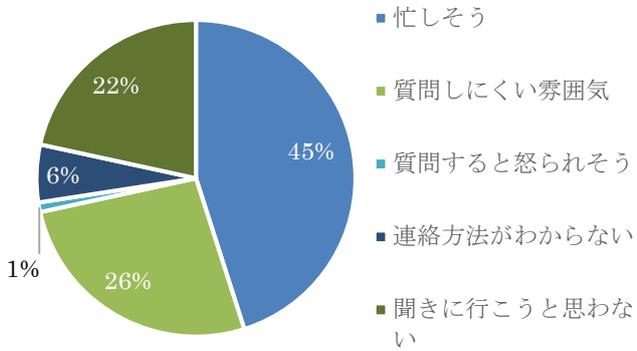
理解できない場合（医学科）



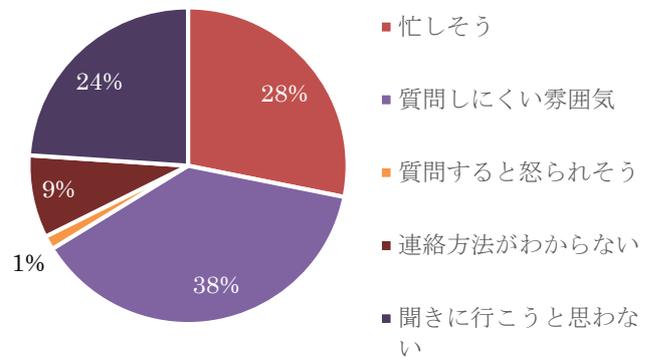
理解できない場合（看護学科）



教員に質問しない理由（医学科）



教員に質問しない理由（看護学科）



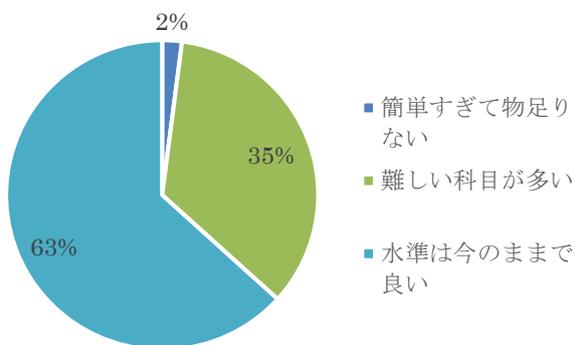
<授業の水準>

また、昨年度履修した教養科目について、「水準は今のままで良い」が両学科ともに約6割と最も多く、次いで「難しい科目が多い」という回答が約3割であった。昨年度履修した専門科目についても同様に、両学科とも「水準は今のままで良い」が最も多く、次いで「難しい科目が多い」という回答が多かった。昨年度履修した科目で得られたものについては、教養科目では、両学科とも、「広い教養が身についた」が最も多く、専門科目では「専門科目の基礎を築けた」の回答が最も多く、次いで「専門知識や技術が修得できた」が多かった。

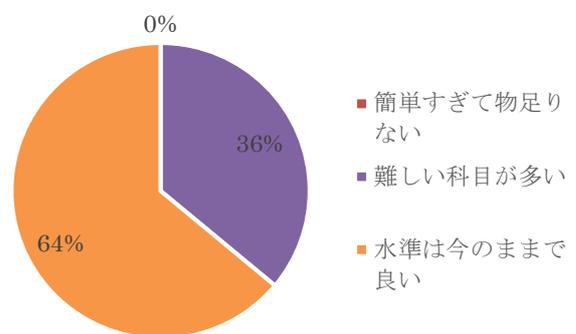
(昨年度履修した科目について (当てはまらない場合は回答無し))

		医学科		看護学科		計	
教養 難易度	簡単すぎて物足りない	1	2.0%	0	0.0%	1	0.9%
	難しい科目が多い	17	34.7%	22	36.1%	39	35.5%
	水準は今のままで良い	31	63.3%	39	63.9%	70	63.6%
	計	49	100%	61	100.0%	110	100.0%
専門 難易度	簡単すぎて物足りない	1	1.5%	2	3.2%	3	2.3%
	難しい科目が多い	32	47.8%	24	38.7%	56	43.4%
	水準は今のままで良い	34	50.7%	36	58.1%	70	54.3%
	計	67	100.0%	62	100.0%	129	100.0%

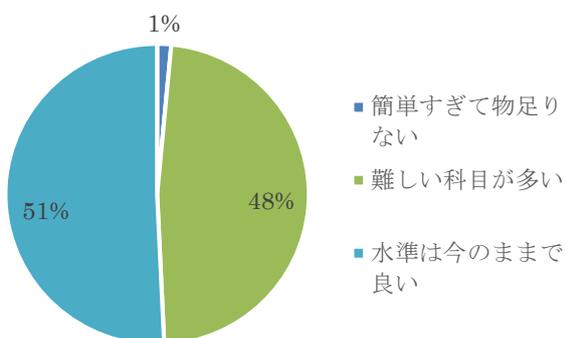
教養科目の難易度 (医学科)



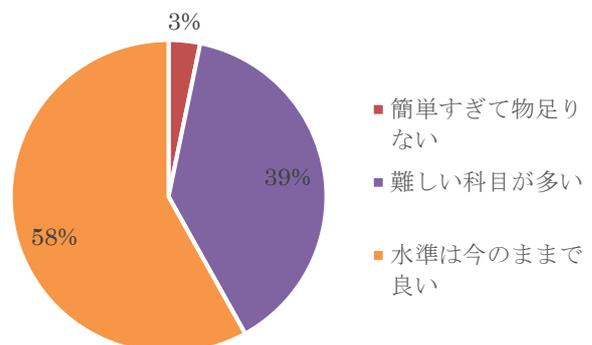
教養科目の難易度 (看護学科)



専門科目の難易度 (医学科)

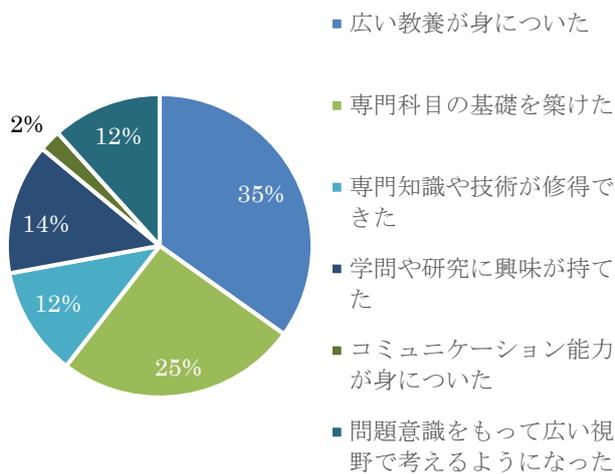


専門科目の難易度 (看護学科)

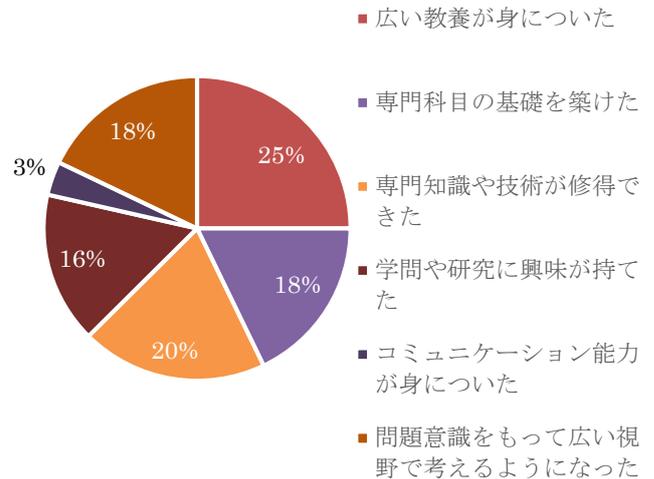


		医学科		看護学科		計	
教養 得たもの	広い教養が身についた	15	16.3%	14	25.0%	29	29.3%
	専門科目の基礎を築けた	11	12.0%	10	17.9%	21	21.2%
	専門知識や技術が修得できた	5	5.4%	11	19.6%	16	16.2%
	学問や研究に興味を持てた	6	6.5%	9	16.1%	15	15.2%
	コミュニケーション能力が身についた	1	1.1%	2	3.6%	3	3.0%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	5	5.4%	10	17.9%	15	15.2%
	計	43	100.0%	56	100.0%	99	100.0%
専門 得たもの	広い教養が身についた	5	3.8%	9	15.3%	14	11.3%
	専門科目の基礎を築けた	27	20.5%	18	30.5%	45	36.3%
	専門知識や技術が修得できた	19	14.4%	15	25.4%	34	27.4%
	学問や研究に興味を持てた	13	9.8%	6	10.2%	19	15.3%
	コミュニケーション能力が身についた	0	0.0%	3	5.1%	3	2.4%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	1	0.8%	8	13.6%	9	7.3%
	計	65	100.0%	59	100.0%	124	100.0%

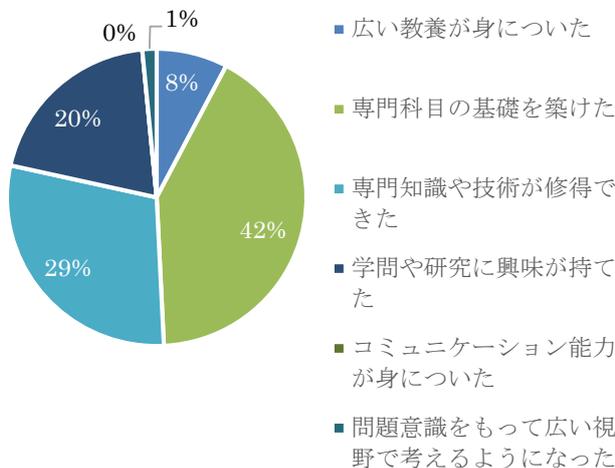
教養科目で得たもの（医学科）



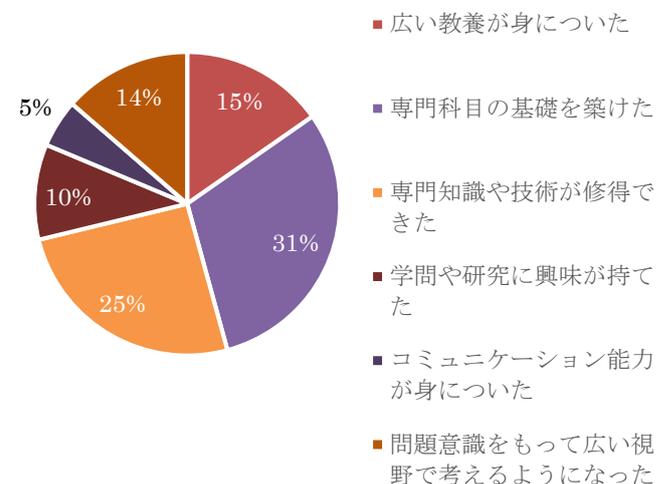
教養科目で得たもの（看護学科）



専門科目で得たもの（医学科）



専門科目で得たもの（看護学科）



<自主学習>

自主学習の程度については、医学科では「復習のみ」看護学科では「課題が出た時のみ」の割合が高く、1日の自主学習時間では1時間以上勉強している割合が医学科の方で約8割、看護学科で約5割となった。なお、試験期間の1日の学習時間は両学科とも「3時間以上」が8割超と同程度であった。

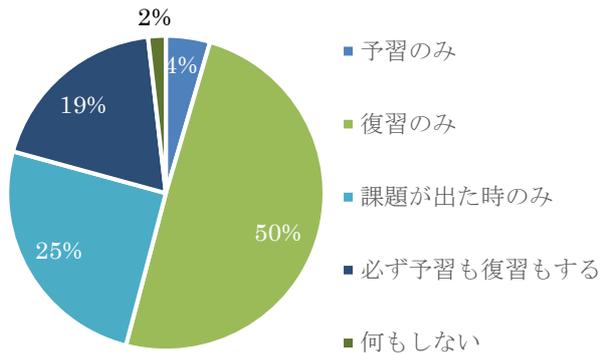
自主学習のために使用する場所については、「自宅」と回答した学生が医学科で約5割、看護学科で約7割であり、「図書館」と回答した学生は医学科で約3割、看護学科では約2割と、看護学科の学生は比較的自宅で学習する割合が高く、図書館の利用率はやや低いようである。

また、調べ物の情報源について、医学科では「教科書・参考書」の回答が約6割であった一方、看護学科では「インターネット」の回答が約6割を占める結果となった。さらに、1日のレポート作成時間を問う設問では、医学科よりも看護学科の方がよりレポート作成に時間をかけている傾向があった。

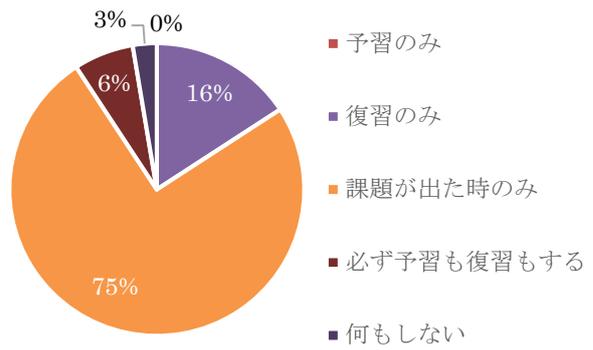
(自主学習の程度・場所等)

		医学科		看護学科		計	
自己学習 程度	予習のみ	5	4.5%	0	0.0%	5	2.7%
	復習のみ	55	49.5%	12	15.8%	67	35.8%
	課題が出た時のみ	28	25.2%	57	75.0%	85	45.5%
	必ず予習も復習もする	21	18.9%	5	6.6%	26	13.9%
	何もしない	2	1.8%	2	2.6%	4	2.1%
	計	111	100.0%	76	100.0%	187	100.0%
自己学習 場所	自宅	64	54.7%	55	71.4%	119	61.3%
	図書館	33	28.2%	15	19.5%	48	24.7%
	図書館以外の学内施設	13	11.1%	7	9.1%	20	10.3%
	その他	7	6.0%	0	0.0%	7	3.6%
	計	117	100.0%	77	100.0%	194	100.0%
調べ物 情報源	教科書・参考書	67	58.3%	26	33.8%	93	48.4%
	インターネット	45	39.1%	51	66.2%	96	50.0%
	教員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	友人・先輩	2	1.7%	0	0.0%	2	1.0%
	その他	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
	計	115	100.0%	77	100.0%	192	100.0%

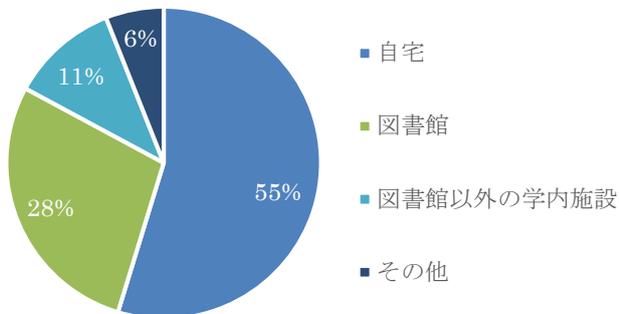
自己学習の程度（医学科）



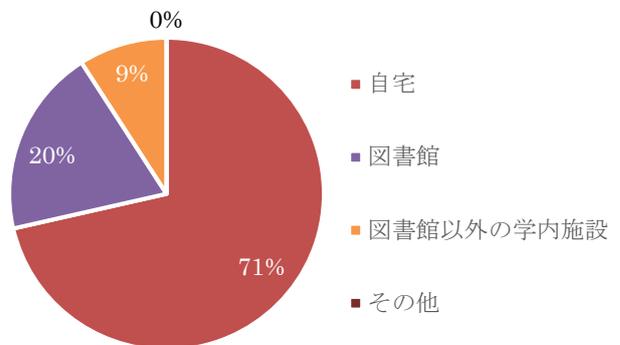
自主学習の程度（看護学科）



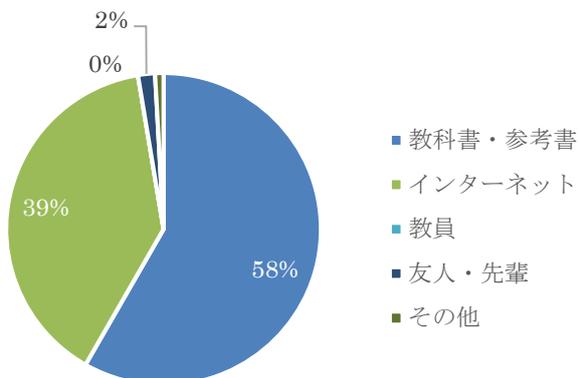
自主学習場所（医学科）



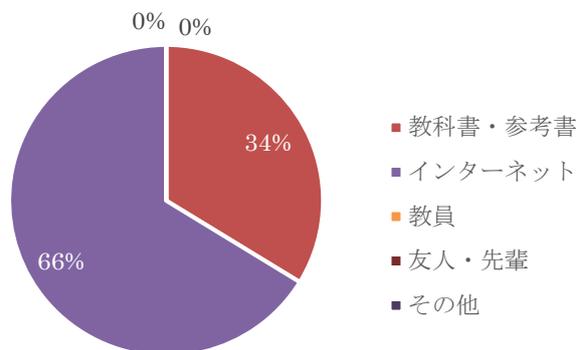
自主学習場所（看護学科）



調べ物の情報源（医学科）



調べ物の情報源（看護学科）

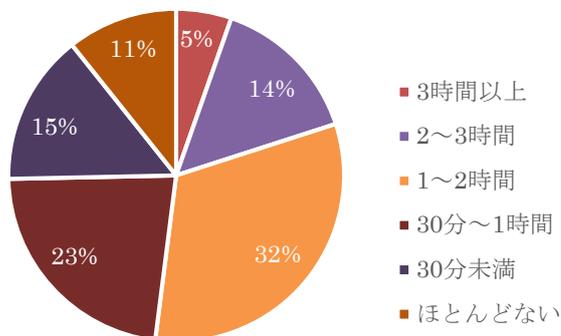
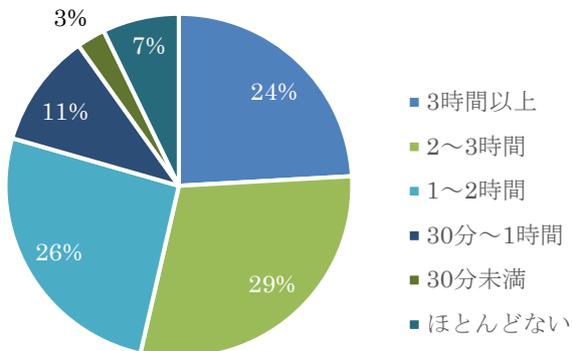


(授業以外の学習時間)

		医学科		看護学科		計	
授業以外	3時間以上	27	24.1%	4	5.3%	31	16.6%
	2～3時間	33	29.5%	11	14.7%	44	23.5%
	1～2時間	29	25.9%	24	32.0%	53	28.3%
	30分～1時間	12	10.7%	17	22.7%	29	15.5%
	30分未満	3	2.7%	11	14.7%	14	7.5%
	ほとんどない	8	7.1%	8	10.7%	16	8.6%
	計	112	100.0%	75	100.0%	187	100.0%
試験期間	3時間以上	96	88.1%	63	82.9%	159	85.9%
	2～3時間	8	7.3%	9	11.8%	17	9.2%
	1～2時間	3	2.8%	2	2.6%	5	2.7%
	30分～1時間	2	1.8%	1	1.3%	3	1.6%
	30分未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ほとんどない	0	0.0%	1	1.3%	1	0.5%
	計	109	100.0%	76	100.0%	185	100.0%

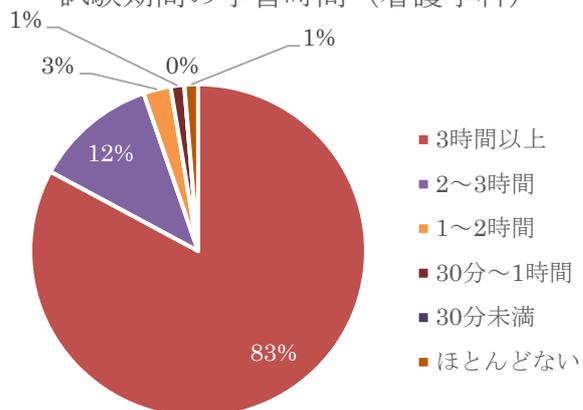
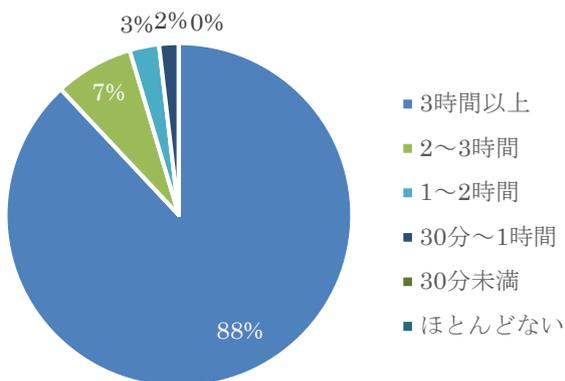
授業以外の学習時間 (医学科)

授業以外の学習時間 (看護学科)



試験期間の学習時間 (医学科)

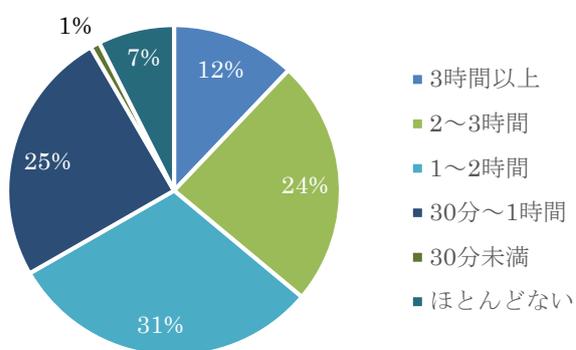
試験期間の学習時間 (看護学科)



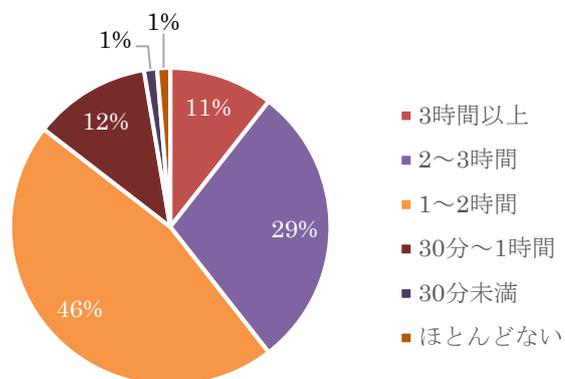
(1日のレポート作成時間)

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
レポート	3時間以上	13	12.0%	8	10.5%	21	11.4%
	2～3時間	26	24.1%	22	28.9%	48	26.1%
	1～2時間	33	30.6%	35	46.1%	68	37.0%
	30分～1時間	27	25.0%	9	11.8%	36	19.6%
	30分未満	1	0.9%	1	1.3%	2	1.1%
	ほとんどない	8	7.4%	1	1.3%	9	4.9%
	計	108	100.0%	76	100.0%	184	100.0%

1日のレポート作成時間 (医学科)



1日のレポート作成時間 (看護学科)



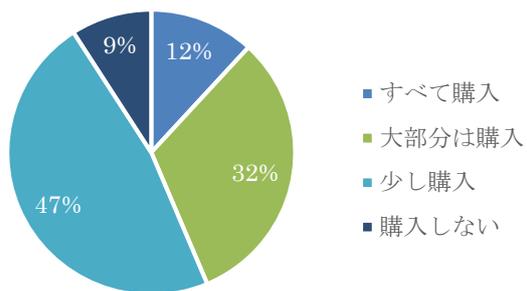
<教材・参考書等の活用>

教科書の購入率は、医学科では約半数の学生が「少し購入」と回答しており、看護学科では約半数の学生が「大部分は購入」と回答していることから、医学科の教科書購入率は看護学科よりも低いことが分かる。教科書を購入しない理由として、両学科ともに「高価である」が最も多く、次いで医学科では「先輩や友人の本を利用」、看護学科では「なくても授業が理解できる」の回答割合が高かった。また、講義概要の使用状況について、医学科では「授業日程等の確認に利用」が最も多く、次いで「あまり利用しない」が、看護学科では「履修登録時に利用」が最も多く、次いで「授業日程等の確認に利用」の回答割合が高かった。

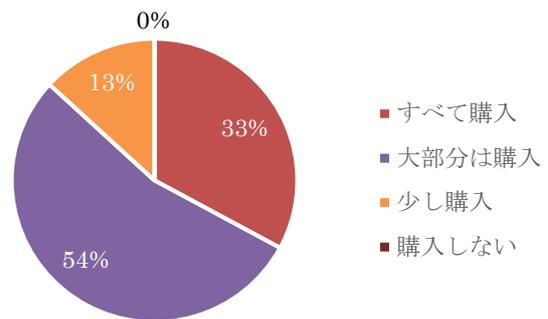
(教科書等の購入率)

		医学科		看護学科		計	
購入率	すべて購入	13	11.8%	25	32.9%	38	20.4%
	大部分は購入	35	31.8%	41	53.9%	76	40.9%
	少し購入	52	47.3%	10	13.2%	62	33.3%
	購入しない	10	9.1%	0	0.0%	10	5.4%
	計	110	100.0%	76	100.0%	186	100.0%
購入しない理由	高価である	47	49.5%	27	55.1%	74	51.4%
	なくても授業が理解できる	14	14.7%	13	26.5%	27	18.8%
	先輩や友人の本を利用	22	23.2%	8	16.3%	30	20.8%
	図書館等の本を利用	12	12.6%	1	2.0%	13	9.0%
	計	95	100.0%	49	100.0%	144	100.0%

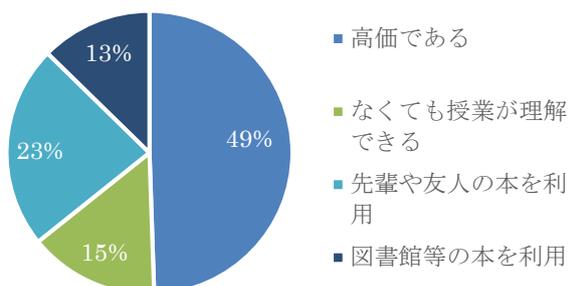
教科書等の購入率（医学科）



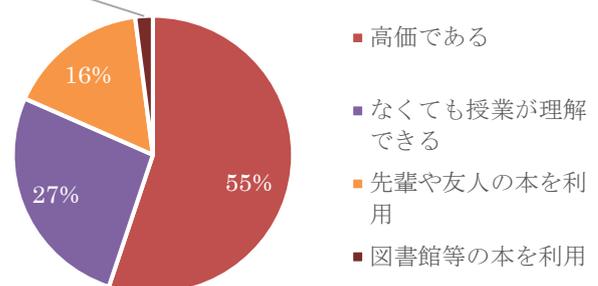
教科書等の購入率（看護学科）



購入しない理由（医学科）



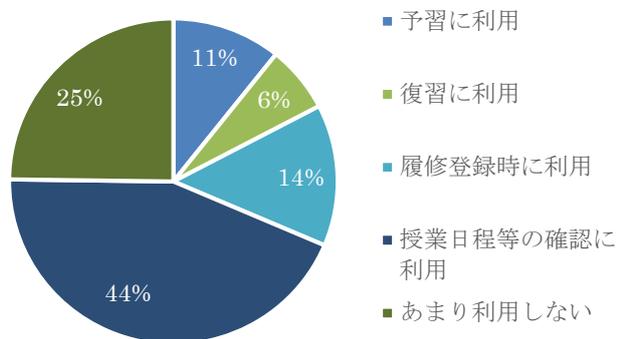
購入しない理由（看護学科）



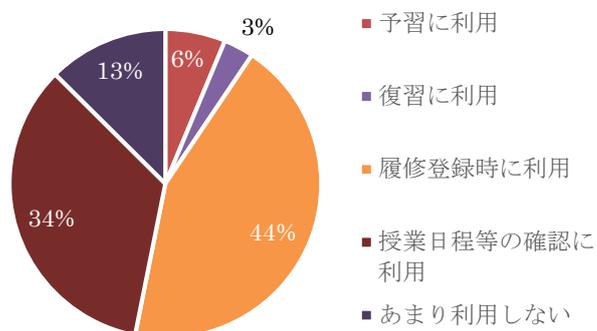
(講義概要の使用状況)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
予習に利用	13	10.7%	6	6.3%	19	8.8%
復習に利用	8	6.6%	3	3.1%	11	5.1%
履修登録時に利用	17	14.0%	42	43.8%	59	27.2%
授業日程等の確認に利用	53	43.8%	33	34.4%	86	39.6%
あまり利用しない	30	24.8%	12	12.5%	42	19.4%
計	121	100.0%	96	100.0%	217	100.0%

講義概要の利用状況 (医学科)



講義概要の利用状況 (看護学科)



V. 図書館の利用について

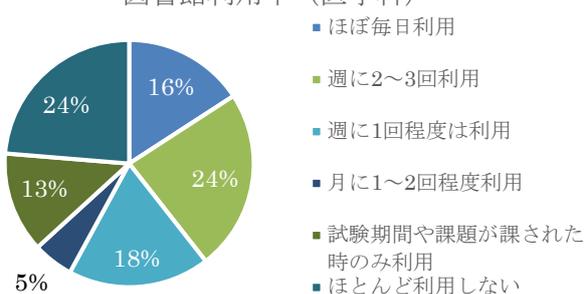
図書館の利用率は、月に一回以上利用している学生が医学科で約 6 割、看護学科では約 3 割となったが、「試験期間や課題が課された時のみ利用」と回答した割合が医学科で約 1 割であるのに対し、看護学科では半数近くであった。

MMC の利用率については、「授業で利用するのみ」「ほとんど利用しない」の合計は両学科とも 4 割以下であり、看護学科では恒常的な利用より「試験期間や課題が課された時のみ利用」の割合が高かった。

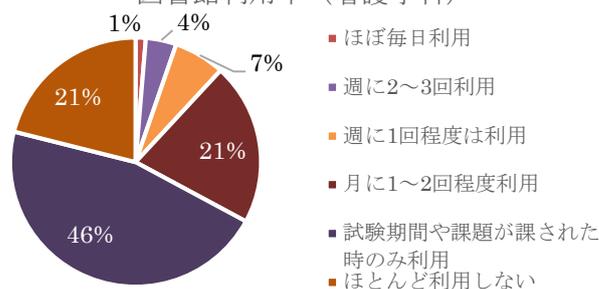
(図書館・MMC 利用率)

		医学科		看護学科		計	
図書館	ほぼ毎日利用	18	15.8%	1	1.3%	19	10.0%
	週に2~3回利用	27	23.7%	3	3.9%	30	15.8%
	週に1回程度は利用	21	18.4%	5	6.6%	26	13.7%
	月に1~2回程度利用	6	5.3%	16	21.1%	22	11.6%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	15	13.2%	35	46.1%	50	26.3%
	ほとんど利用しない	27	23.7%	16	21.1%	43	22.6%
	計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%
MMC	ほぼ毎日利用	7	6.1%	1	1.3%	8	4.2%
	週に2~3回利用	17	14.9%	1	1.3%	18	9.5%
	週に1回程度は利用	12	10.5%	6	7.9%	18	9.5%
	月に1~2回程度利用	14	12.3%	11	14.5%	25	13.2%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	23	20.2%	27	35.5%	50	26.3%
	授業で利用するのみ	14	12.3%	20	26.3%	34	17.9%
	ほとんど利用しない	27	23.7%	10	13.2%	37	19.5%
	計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%

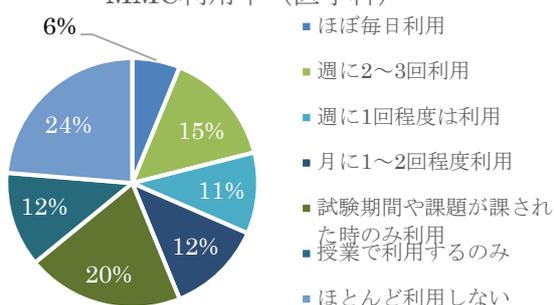
図書館利用率 (医学科)



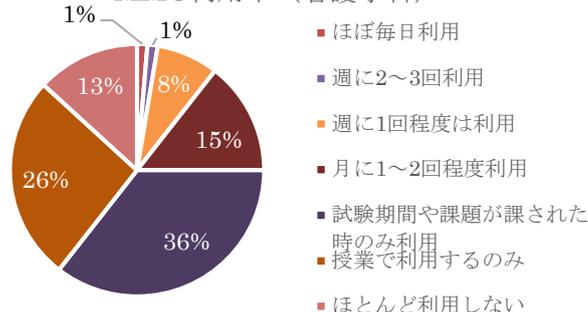
図書館利用率 (看護学科)



MMC利用率 (医学科)



MMC利用率 (看護学科)

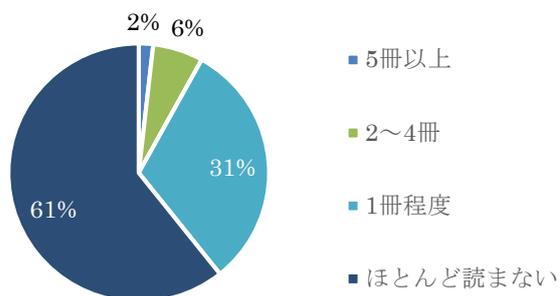


<読書習慣>

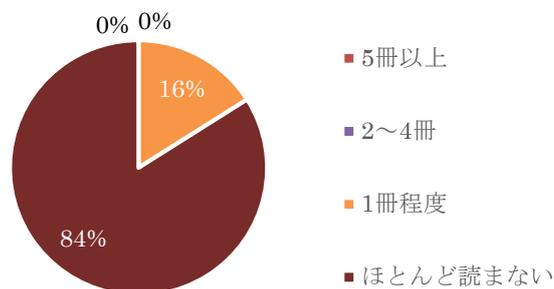
専門書は「ほとんど読まない」と回答した学生が医学科で6割、看護学科では8割を超えており、教養書についてもほとんど読まないか読んだとしても月に1冊程度の学生が約9割という結果であった。

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
専門書	5冊以上	2	1.8%	0	0.0%	2	1.1%
	2～4冊	7	6.3%	0	0.0%	7	3.7%
	1冊程度	35	31.3%	12	16.0%	47	25.1%
	ほとんど読まない	68	60.7%	63	84.0%	131	70.1%
	計	112	100.0%	75	100.0%	187	100.0%
教養書	5冊以上	2	1.8%	1	1.3%	3	1.6%
	2～4冊	7	6.3%	2	2.7%	9	4.8%
	1冊程度	53	47.7%	30	40.0%	83	44.6%
	ほとんど読まない	49	44.1%	42	56.0%	91	48.9%
	計	111	100.0%	75	100.0%	186	100.0%

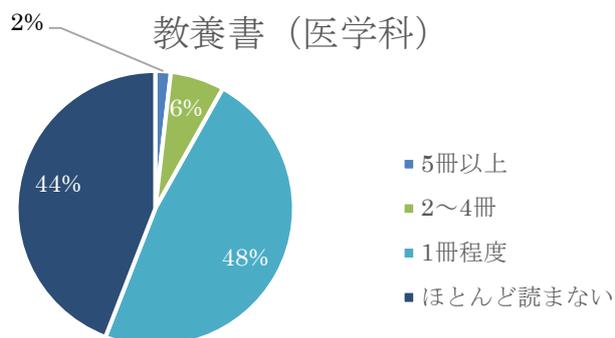
専門書（医学科）



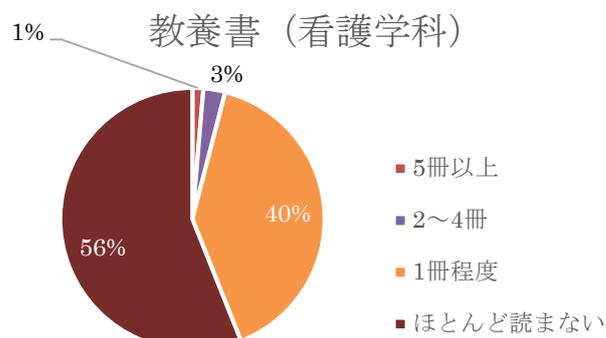
専門書（看護学科）



教養書（医学科）



教養書（看護学科）



VI. 課外活動について

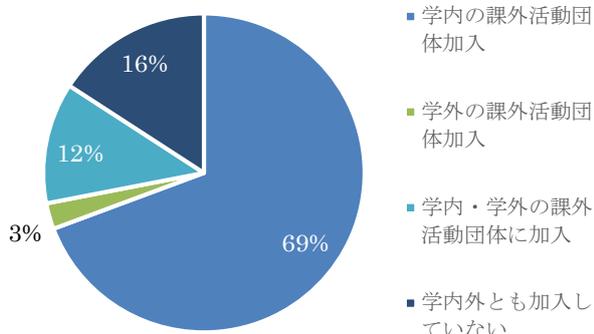
<課外活動団体について>

本学学生の課外活動団体加入率は医学科で8割、看護学科では7割を超えている。所属理由の約半数は活動内容に関心があったことである。一方、加入していない学生の主な理由としては、両学科とも「時間がない」との回答が最も多かった。また、少数ではあるが学外の団体に加入している学生も見られた。

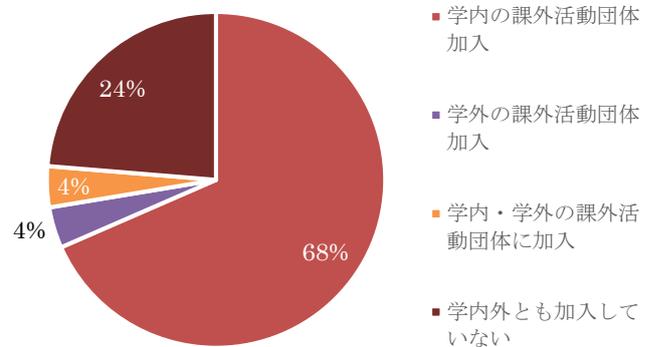
(課外活動団体加入率)

	医学科		看護学科		計	
学内の課外活動団体加入	79	69.3%	52	68.4%	131	68.9%
学外の課外活動団体加入	3	2.6%	3	3.9%	6	3.2%
学内・学外の課外活動団体に加入	14	12.3%	3	3.9%	17	8.9%
学内外とも加入していない	18	15.8%	18	23.7%	36	18.9%
計	114	100.0%	76	100.0%	190	100.0%

課外活動団体加入率（医学科）



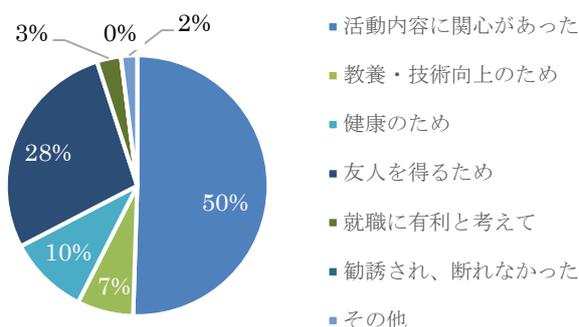
課外活動団体加入率（看護学科）



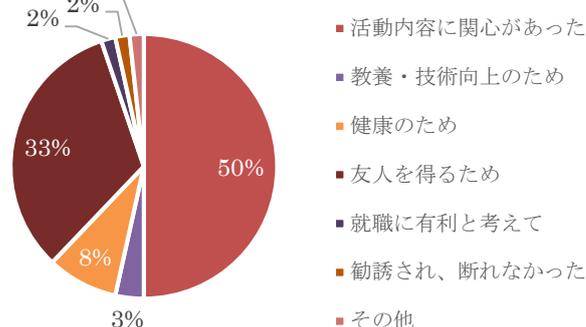
(加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
活動内容に関心があった	51	50.5%	29	50.0%	80	50.3%
教養・技術向上のため	7	6.9%	2	3.4%	9	5.7%
健康のため	10	9.9%	5	8.6%	15	9.4%
友人を得るため	28	27.7%	19	32.8%	47	29.6%
就職に有利と考えて	3	3.0%	1	1.7%	4	2.5%
勧誘され、断れなかった	0	0.0%	1	1.7%	1	0.6%
その他	2	2.0%	1	1.7%	3	1.9%
計	101	100.0%	58	100.0%	159	100.0%

加入理由 (医学科)



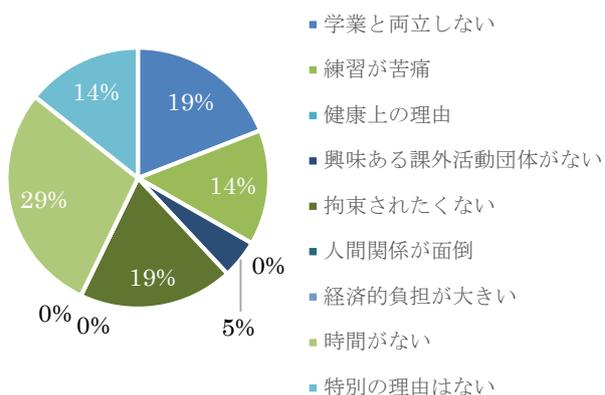
加入理由 (看護学科)



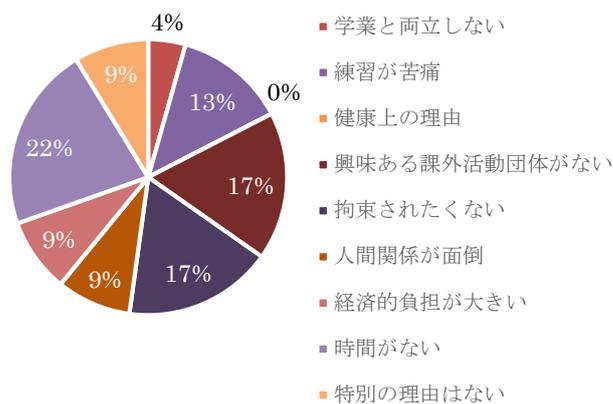
(非加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学業と両立しない	4	19.0%	1	4.3%	5	11.4%
練習が苦痛	3	14.3%	3	13.0%	6	13.6%
健康上の理由	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
興味ある課外活動団体がない	1	4.8%	4	17.4%	5	11.4%
拘束されたくない	4	19.0%	4	17.4%	8	18.2%
人間関係が面倒	0	0.0%	2	8.7%	2	4.5%
経済的負担が大きい	0	0.0%	2	8.7%	2	4.5%
時間がない	6	28.6%	5	21.7%	11	25.0%
特別の理由はない	3	14.3%	2	8.7%	5	11.4%
計	21	100.0%	23	100.0%	44	100.0%

非加入理由 (医学科)



非加入理由 (看護学科)



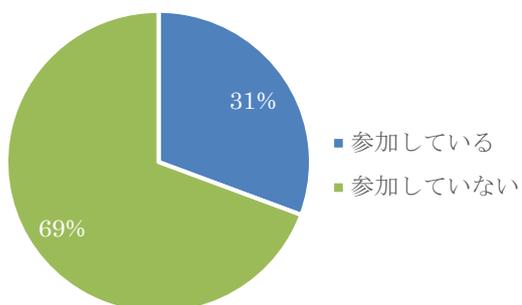
<浜松医科大学との交流会・西医体・若鮎祭への参加率>

浜松医科大学との交流会・西医体共に参加率は例年約5割程度であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は開催中止となったこともあり、浜医交流会の参加率は3割程度、西医体の参加率は3～4割となった。若鮎祭も同様に令和2年度は開催中止となり、医学科での参加率は約5割程度となっている。

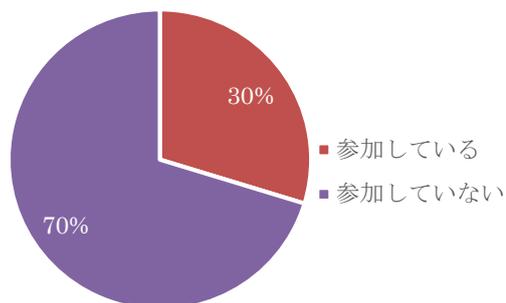
(浜医交流会参加率)

		医学科		看護学科		計	
浜医	参加している	31	30.7%	22	29.7%	53	30.3%
	参加していない	70	69.3%	52	70.3%	122	69.7%
	計	101	100.0%	74	100.0%	175	100.0%
西医体	参加している	42	40.8%	21	28.4%	63	35.6%
	参加していない	61	59.2%	53	71.6%	114	64.4%
	計	103	100.0%	74	100.0%	177	100.0%

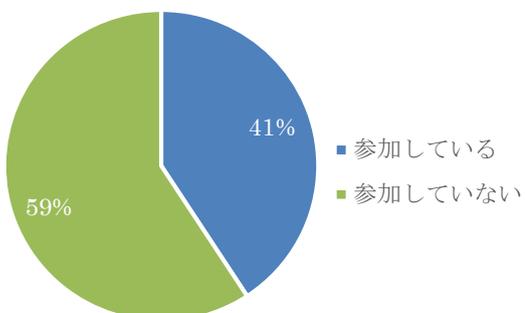
浜医交流会参加率（医学科）



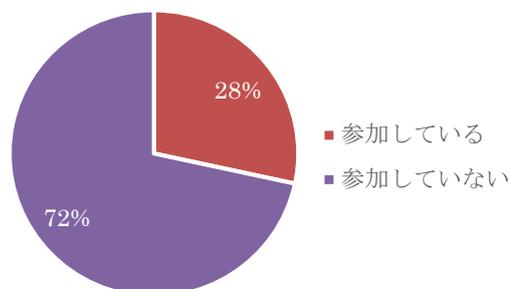
浜医交流会参加率（看護学科）



西医体参加率（医学科）



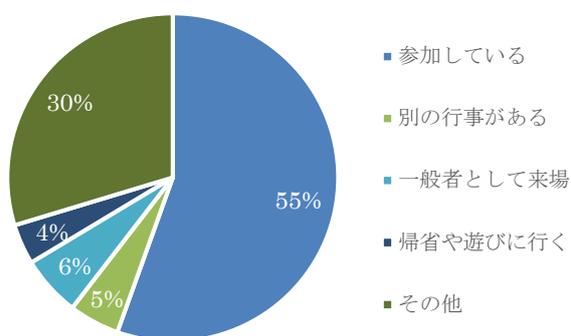
西医体参加率（看護学科）



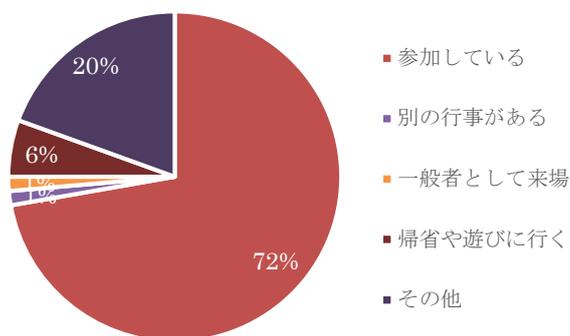
(若鮎祭参加率)

	医学科		看護学科		計	
参加している	56	55.4%	52	72.2%	108	62.4%
別の行事がある	5	5.0%	1	1.4%	6	3.5%
一般者として来場	6	5.9%	1	1.4%	7	4.0%
帰省や遊びに行く	4	4.0%	4	5.6%	8	4.6%
その他	30	29.7%	14	19.4%	44	25.4%
計	101	100.0%	72	100.0%	173	100.0%

若鮎祭の運営参加率 (医学科)



若鮎祭の運営参加率 (看護学科)



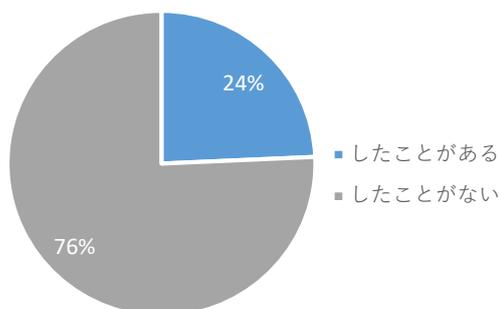
<ボランティア経験>

在学中にボランティアに携わったことがあると回答した学生は、両学科ともに約 2 割であった。

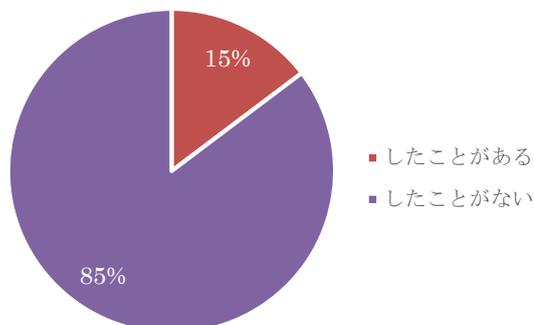
(在学中のボランティア経験)

	医学科		看護学科		計	
したことがある	26	24.3%	11	14.7%	37	20.3%
したことがない	81	75.7%	64	85.3%	145	79.7%
計	107	100.0%	75	100.0%	182	100.0%

ボランティア活動参加経験 (医学科)



ボランティア活動参加経験 (看護学科)



Ⅶ. 卒業後の進路について

将来の理想像として、両学科ともに「医療機関（病院）で活躍したい」との回答が約7割であった。

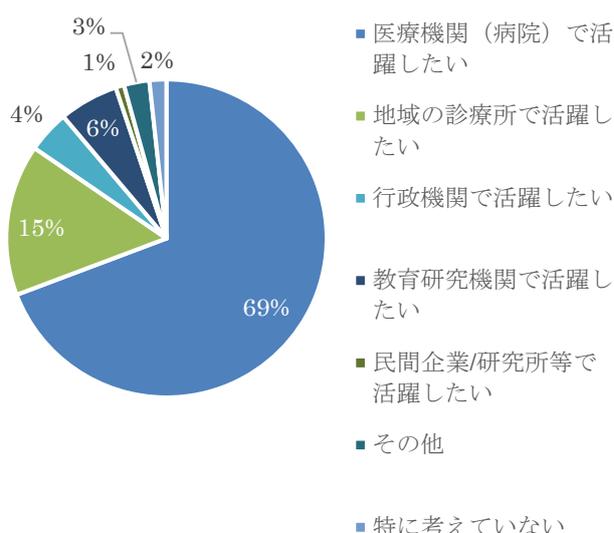
希望就職先は、医学科では県外の病院との回答が約32%、県内の病院との回答が約23%、本学附属病院への就職希望、他大学附属病院への就職希望はともに約12%であった。看護学科では県外の病院との回答が約20%、保健所もしくは養護教諭との回答が約16%、本学附属病院への就職希望が最も多く約31%であった。なお、進学希望者は両学科とも少数であった。

また、就職先を選ぶ基準は両学科とも共通して「学んだ知識や技術が生かせる」と、「人間関係が良い」の2項目が多数を占めた。

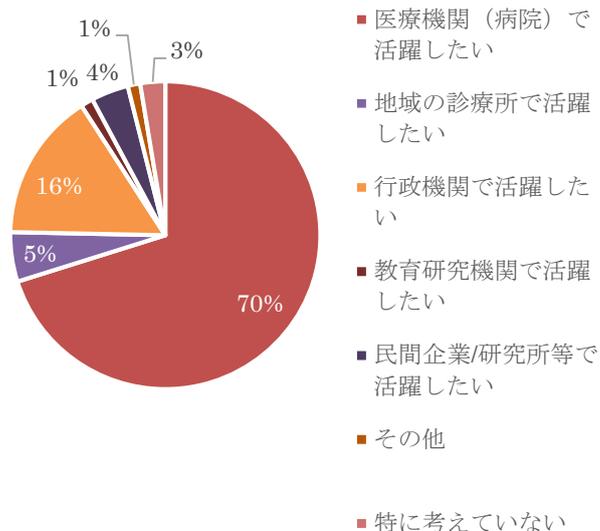
(将来の理想像)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
医療機関（病院）で活躍したい	81	69.2%	54	70.1%	135	69.6%
地域の診療所で活躍したい	18	15.4%	4	5.2%	22	11.3%
行政機関で活躍したい	5	4.3%	12	15.6%	17	8.8%
教育研究機関で活躍したい	7	6.0%	1	1.3%	8	4.1%
民間企業/研究所等で活躍したい	1	0.9%	3	3.9%	4	2.1%
その他	3	2.6%	1	1.3%	4	2.1%
特に考えていない	2	1.7%	2	2.6%	4	2.1%
計	117	100.0%	77	100.0%	194	100.0%

将来について（医学科）



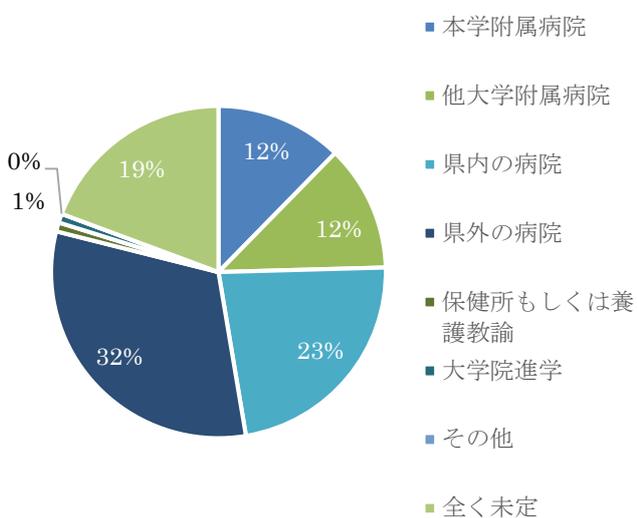
将来について（看護学科）



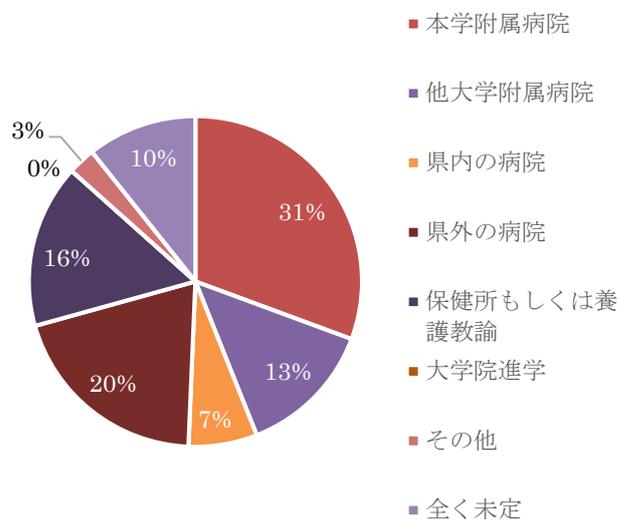
(希望就職先)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本学附属病院	14	12.3%	23	30.7%	37	19.6%
他大学附属病院	14	12.3%	10	13.3%	24	12.7%
県内の病院	26	22.8%	5	6.7%	31	16.4%
県外の病院	36	31.6%	15	20.0%	51	27.0%
保健所もしくは養護教諭	1	0.9%	12	16.0%	13	6.9%
大学院進学	1	0.9%	0	0.0%	1	0.5%
その他	0	0.0%	2	2.7%	2	1.1%
全く未定	22	19.3%	8	10.7%	30	15.9%
計	114	100.0%	75	100.0%	189	100.0%

卒後の進路希望 (医学科)



卒後の進路希望 (看護学科)



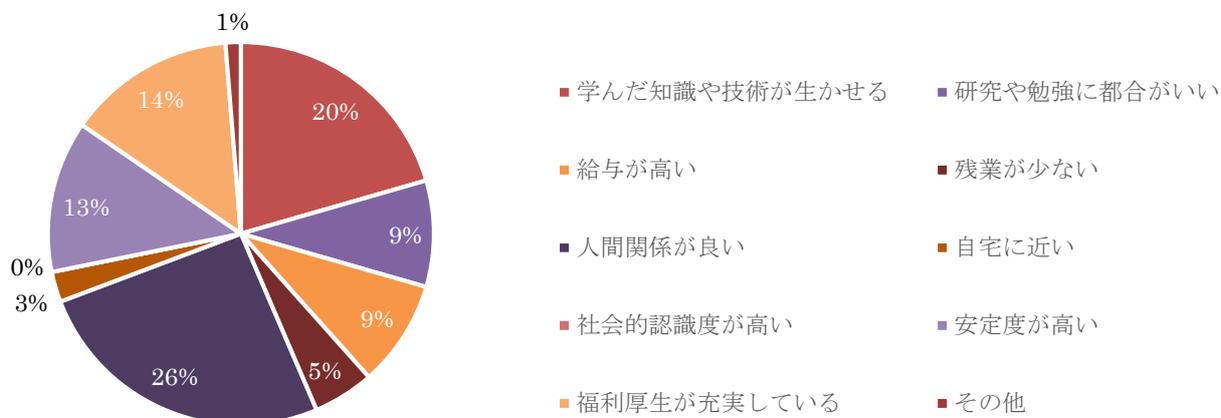
(就職先を選ぶ基準)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学んだ知識や技術が生かせる	37	31.1%	16	20.5%	53	26.9%
研究や勉強に都合がいい	20	16.8%	7	9.0%	27	13.7%
給与が高い	6	5.0%	7	9.0%	13	6.6%
残業が少ない	5	4.2%	4	5.1%	9	4.6%
人間関係が良い	25	21.0%	20	25.6%	45	22.8%
自宅に近い	5	4.2%	2	2.6%	7	3.6%
社会的認識度が高い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
安定度が高い	8	6.7%	10	12.8%	18	9.1%
福利厚生が充実している	8	6.7%	11	14.1%	19	9.6%
その他	5	4.2%	1	1.3%	6	3.0%
計	119	100.0%	78	100.0%	197	100.0%

就職先の選択基準 (医学科)



就職先の選択基準 (看護学科)



2021 年度

学修・学生生活実態調査

学修状況編

学修状況編については、旧「学習に関する実態調査」において実施されていた設問のうち、記述式の設問（問 66～75）についての集計結果を設問ごとに掲載しています。

なお、試験問題や評価方法等について回答された科目は、その具体的な理由は掲載していませんが、講義担当教員へは個別に通知し、講義内容の改善を図っています。

設問 66 高校で履修していないために、理解が困難だった科目がありましたか。(科目名を記入)

医学科	回答者数	物理未履修		化学未履修		生物未履修		未記入	
2～6年	95	24	25.3%	2	2.1%	15	15.8%	54	56.8%

() 内の数字は科目を記入した人数を示す。

未履修科目	理解するのが困難だった科目名等
物理	物理学基礎 (8)、物理学概論 (10)、医系物理学 (2)、物理学実習 (2)、物理学全般 (6)、物理学応用 (1)
化学	基礎有機化学 (1)、化学全般 (1)
生物	生物学 (1)、分子生物学 (1)、生物学概論 (2) 細胞生物学基礎 (1)、生物学基礎 (1)、生物学概論 (1)、発生生物学 (1)、免疫学 (1)
	● 暗記が困難。

看護学科	回答者数	物理未履修		化学未履修		生物未履修		未記入	
2～4年	46	28	60.9%	14	30.4%	13	28.3%	10	21.7%

() 内の数字は科目を記入した人数を示す。

未履修科目	理解するのが困難だった科目名等
物理	生命活動の物理学 (15)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 理解するのが難しかった。 ● 演習、公式の理解が難しかった。 ● ○○先生の授業がわかりやすかったので楽しかった。 ● 未履修のため難しく感じた。 ● 文系クラスのため、いずれも基礎科目しか学習しておらず少し理解に苦しんだ。 ● 物理未履修のため、物理の理解が困難であった。 ● 毎回頭に「？」を浮かべたままでした。授業中、外の課題もやみくもにがんばっていただけでした。時間がなかったのはわかりますが、授業中に演習の時間がないと本当に置いてけぼりで大変でした。

	生命活動の化学(11)
化学	<ul style="list-style-type: none"> ● 文系クラスのため、いずれも基礎科目しか学習しておらず少し理解に苦しんだ。 ● 基礎のみの履修のため、理解が困難であった。
	生物学(7)
生物	<ul style="list-style-type: none"> ● 文系クラスのため、いずれも基礎科目しか学習しておらず少し理解に苦しんだ。 ● 基礎のみの履修のため、理解が困難であった。

設問 67 困難だった科目を理解するために、どのように学習しましたか。(複数回答可)

医学科	2～6年	
大学が開講している「自然科学入門」等で学習した	21	40.4%
個人的に、高校の教科書や参考書等で学習した	24	46.2%
その他	9	17.3%
合 計	54	
未記入	43	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。(95-43=52)

その他の主な意見

- * 覚えていない。
- * 先生に質問した。
- * 友人、教授に質問。
- * 物理を履修していた友人に教えてもらった。
- * ロビンス病理学を購入して学習した。
- * 教員に質問した。
- * 先生に質問した。
- * 教授に理解できるまで質問した。

看護学科	2～4年	
大学が開講している「自然科学入門」等で学習した	4	10.8%
個人的に、高校の教科書や参考書等で学習した	25	67.6%
その他	7	18.9%
合 計	36	
未記入	9	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。(46-9=37)

その他の主な意見

- * 友達に教えてもらった。
- * 友人に聞いた。
- * 友人に聞く。
- * 弟（当時高2）の物理の教科書を借りていました。ほとんど理解できてないですが。
- * 大学で配付される資料や教科書で学習した。
- * 友達と相談しながら学習した。
- * ネットで調べる。
- * 友達とプリントでやった。

設問 68 成績評価に関する満足度とその理由

医学科	2～6年	
回答者数	95	100.0%
満足	25	26.3%
まあまあ満足	53	55.8%
やや不満	8	8.4%
不満	3	3.2%
その他	1	1.1%
未記入	5	5.3%

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 自分の予想以上に良い成績がとれたと思ったから。 * その通りだと思いう評価をしてもらっている。 * 妥当だと思うから。 * 思ったより良かったから。 * おおむね予想通りだったから。 * 進級できたから。 * 正しく評価されたと思う。 * 不満はありません。 * テストの手応えと一致していた。
まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 実をいうと、あまり成績を重視していないので、こだわりはない。(学業は重視している) * 妥当な成績だった。 * 妥当な評価を受けたと思っている。 * 概ね予想通りであるため。 * 試験での理解度判定によるものだから、実力が反映されるため。 * 特に疑問な点はなかったの。 * 最終的には大半の学生が進級できるから。 * 妥当。 * 答案が返却されないため、採点が不明瞭で、改善したいのに改善できない。 * 予想とは異なる成績だった科目もあったが、大体は予想通りだったため。 * 妥当。 * 特に不満はない。 * 今回は評価の不透明性が特に高かったから。 * 科目によって評価基準が一定でない。 * 評価基準がよくわからないので、なんとも言いようがない。 * 思ったよりも成績が良かった。 * それ相応の評価だと思うから。 * 努力に対する評価が妥当だと思う。 * 理由がわからず評価が低い教科があった。 * 課題レポートの採点基準がよくわからない。

やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * テストの点を開示してほしい。 * 勉強した科目で評価が低い、勉強していない科目で評価が高い、ということが多々あるため。 * レポートなどを自分なりに時間をかけて完成させているのにそれ相応の評価が得られなかったから。 * テストが回収され、点数が後悔されるかどうか科目（先生）により異なるが、テスト問題をくれて、採点した答案も返してくれた先生がいることを考えると不平等に感じる。マークなどは客観性が高い分、自己評価とずれると、何がどう悪かった（良かった）のかテストの結果がわからないと、何を誤解したのか自分でわからないので、後の勉強につながらない。 * レポートの評価が曖昧なため。 * 自分が理解できなかったのが悪いと思うから。物理未履修と履修者の差は大きいと思った。
不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * テスト答案用紙や解答が返却されず、何とどう間違った結果の成績なのかが一切わからないため、大変不満です。結果がFBされなければ、受ける意味が半減です。 * 不当な評価をつける教員がいる。成績を非公開にしている。 * 全人的医療体験学習が可だったこと。
その他と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 妥当。

看護学科	2～4年	
回答者数	46	100.0%
満足	11	23.9%
まあまあ満足	25	54.3%
やや不満	6	13.0%
不満	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	4	8.7%

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * オンラインの状況でも自主学習を頑張ったから。 * 妥当だったから。 * 勉強した教科は成績が良く、勉強していなかった教科は成績がふるわなかったから。 * 納得できる評価だったため。 * しっかり評価してもらえたから。 * 努力できちんと結果の出る試験をつくってくれたから。 * 正當に評価してくださっていると思います。
まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 思ったよりも良かったから。 * 自分の勉強量に見合ったものだったため。 * 予想していた通りの成績だったから。 * 実習は特に評価基準が不明瞭であるが、自分が思っていた評価であったため。 * 自分がとった点数がそのまま反映されていたから。 * 試験やレポートへの取り組みが反映されたと感じるから。 * 理由が分からず低い評価もあるが、ほとんどは満足。 * 大抵の科目は「秀」「優」「良」「可」「不可」の評価が付くが、一部の科目で「合格」か「不合格」で、しばらくしてから先程の評価が出されるので、不安な時間がある。 * 各教科それぞれ、思った通りの成績か、思った以上の成績かのどちらかだったから。 * 自分の試験のでき具合と相違ありませんでしたが、解答用紙が返ってきてないので、自分の得点が分からない点が少しひっかかっています。 * 評価に関して、不可～秀の表記だけでなくひとことコメントがあると、その評価に対する根拠もわかり、さらに勉強への意欲につながると思う。 * 自分が学習し、予想した評価とおおむね同じであったから。 * 自分の予想と大体あっていたから。
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 心理学を筆頭になぜこのような成績になったのか原因が分からないから。 * 判断基準が明確でなく不明。テストの結果が分からない。 * テスト前以外にも予習復習をしたり、授業を真面目に受けていたりしたらもっとよい点を取れたかもしれないから。 * レポート形式での評価の基準が分からないため。

- 設問 69 試験の範囲や問題の難易度 (最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由)
 設問 70 レポートの課題や分量 (最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由)
 設問 71 評価方法や評価基準 (最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由)

本報告書においては、上記 3 項目は科目名と人数のみを掲載した。
 記載された理由は、それぞれ担当教員に通知した。

設問 69 試験の範囲や問題の難易度 () 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

最も適切であった科目	改善を要する科目
医学科	
<u>基礎有機化学 (2)</u> 、 <u>英語 II (1)</u> 、 <u>核酸・病態生化学 (4)</u> 、 <u>確率・統計 (1)</u> 、 <u>筋・骨格系 (3)</u> 、 <u>呼吸器系 (1)</u> 、 <u>細胞生理学 (1)</u> 、 <u>歯科口腔系 (1)</u> 、 <u>耳鼻・咽喉系 (1)</u> 、 <u>循環器系 (1)</u> 、 <u>神経系 (1)</u> 、 <u>精神系 (3)</u> 、 <u>線形代数 (2)</u> 、 <u>代謝生化学 (2)</u> 、 <u>中国語 Ia・IIa (2)</u> 、 <u>微生物学 (1)</u> 、 <u>皮膚・結合組織系 (2)</u> 、 <u>フランス語 Ia・Ib・IIa・IIb (1)</u> 、 <u>分子生物学基礎 (5)</u> 、 <u>法医学 (1)</u> 、 <u>法学 (1)</u> 、 <u>眼・視覚系 (3)</u> 、 <u>薬理学 (1)</u>	人文地理学 (2)、物理学概論 (7)、 基礎物理化学 (1)、 <u>基礎有機化学 (1)</u> 、 <u>英語 II (1)</u> 、 <u>核酸・病態生化学 (1)</u> 、 <u>神経科学 (2)</u> 、 <u>微生物学 (1)</u> 、 行動科学基礎 (1)、行動科学応用 (3)、 <u>循環器系 (3)</u> 、 <u>耳鼻・咽喉系 (5)</u> 、 内分泌・代謝系 (2)、 <u>筋・骨格系 (2)</u> 、 腎・尿路系 (2)
看護学科	
<u>生命活動の物理学 (4)</u> 、 <u>ランダム現象の数理 (2)</u> 、 <u>情報科学 (1)</u> 、 <u>医療社会学 (1)</u> 、 <u>スポーツ科学実践 (1)</u> 、 <u>英語 Ia (1)</u> 、 <u>ドイツ語 b (2)</u> 、 <u>フランス語 b (1)</u> 、 <u>中国語 a (2)</u> 、 <u>中国語 b (7)</u> 、 <u>解剖生理学 I (10)</u> 、 <u>解剖生理学 II (8)</u> 、 <u>地域ケアシステム論 (1)</u> 、 <u>精神保健看護学各論 (1)</u>	<u>生命活動の物理学 (1)</u> 、 <u>文化人類学 (1)</u> 、 <u>英語 Ia (2)</u> 、 <u>英語 Ib (2)</u> 、 <u>英語実習 Ib (4)</u> 、 <u>病理学 (4)</u> 、 <u>診断と治療 I (1)</u> 、 <u>病態生理学特論 (1)</u> 、 <u>看護学概論 I (3)</u> 、 <u>看護学概論 II (8)</u> 、 <u>母性看護学演習 (1)</u>

注) 下線は「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

設問 70 レポートの課題や分量

() 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

最も適切であった科目	改善を要する科目
医学科	
哲学特論 (1)、人文地理学 (3)、 地域文化論 (1)、生物学実習 (2)、 物理学概論 (1)、線形代数 (1)、 <u>医学概論Ⅱ (2)</u> 、代謝生化学 (2)、 代謝生化学実習 (1)、臓器生理学実習Ⅱ (2)、 薬理学 (5)、薬理学実習 (1)、 <u>免疫学 (1)</u> 、 倫理学 (1)、循環器系 (2)、 <u>歯科口腔系 (2)</u> 、 <u>皮膚・結合組織系 (1)</u> 、 <u>少人数能動学習 (1)</u>	歴史学 (1)、文化人類学 (3)、 現代社会と科学 (1)、英語実習Ⅰ (1)、 英語実習Ⅱ (2)、医学概論Ⅰ (4)、 <u>医学概論Ⅱ (3)</u> 、 <u>臓器生理学実習Ⅰ (1)</u> 、 <u>免疫学 (2)</u> 、再生医学実習 (1)、 行動科学基礎 (2)、行動科学応用 (12)、 筋・骨格系 (1)、 <u>皮膚・結合組織系 (6)</u> 、
看護学科	
<u>生物学 (3)</u> 、生命活動の化学 (1)、 <u>ランダム現象の数理 (3)</u> 、 <u>生涯発達論 (1)</u> 、 現代社会と科学 (3)、医療社会学 (3)、 <u>教育学 (1)</u> 、歴史学 (1)、家族社会学 (1)、 哲学 (1)、スポーツ科学実践 (3)、 フランス語 b (1)、中国語 a (4)、 解剖生理学Ⅱ (1)、病態生理学特論 (1)、 医学概論 (1)、成人保健看護学各論 (1)	<u>生物学 (2)</u> 、 <u>ランダム現象の数理 (1)</u> 、 <u>生涯発達論 (13)</u> 、社会学 (1)、 <u>教育学 (1)</u> 、心理学 (3)、文化人類学 (3)、 社会福祉・社会保障論 (1)、 地域保健看護学 (1)、 基礎看護技術演習Ⅰ (1)、 基礎看護技術演習Ⅱ (2)、 人間発達実習 (2)

注)・下線は「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

設問 71 評価方法や評価基準

() 内の数字は科目を選んだ人数を示す。

最も適切であった科目	改善を要する科目
医学科	
現代社会論 (1)、人文地理学 (1)、地域論 (1)、 分子生物学基礎 (1)、生物学実習 (1)、 物理学概論 (1)、化学実習 (1)、 核酸・病態生化学 (3)、人体解剖学 (1)、 倫理学 (1)、循環器系 (1)、眼・視覚系 (2)、 <u>耳鼻・咽喉系 (1)</u> 、 <u>歯科口腔系 (1)</u> 、 精神系 (2)、 <u>筋・骨格系 (1)</u> 、 <u>皮膚・結合組織系 (2)</u> 、 <u>腎・尿路系 (1)</u>	文化人類学 (1)、 全人的医療体学習Ⅰ・Ⅱ (1)、 細胞生物学基礎 (1)、英語実習Ⅱ (2)、 有機人体機能構造学 (1)、神経科学 (1)、 医学英語 (1)、行動科学基礎 (2)、 行動科学応用 (5)、研究室配属 (1)、 <u>耳鼻・咽喉系 (1)</u> 、 <u>内分泌・代謝系 (1)</u> 、 <u>筋・骨格系 (2)</u> 、 <u>腎・尿路系 (1)</u> 、 消化器系 (1)
看護学科	
生物学 (1)、生涯発達論 (1)、社会学 (1)、 医療社会学 (1)、スポーツ科学実践 (2)、 英語Ⅰ b (1)、中国語 a (1)、 フランス語 b (2)、中国語 b (2)、 解剖生理学Ⅰ (10)、解剖生理学Ⅱ (6)、 基礎看護技術演習Ⅰ (2)、 基礎看護技術演習Ⅱ (2)、 精神保健看護学各論 (1)	情報科学 (1)、アカデミック・スキル (3)、 医療社会学 (2)、歴史学 (1)、心理学 (1)、 文化人類学 (1)、英語Ⅰ b (1)、 英語実習Ⅰ a (2)、英語実習Ⅰ b (1)、 医学概論 (2)、精神保健看護学概論 (1)

注)・下線は「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

設問 72 特に、印象に残っている科目は何ですか。

特に印象に残っている科目および理由は、上位3科目のみ本報告書に掲載した。
 回答のあったすべての科目および理由は、それぞれ担当教員に通知した。

特に良かった科目として上位に挙げられた科目および主な理由

医学科	
科目名	「核酸・病態生化学」、「人体解剖学」、「循環器系」
理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習到達目標が明確で、学ぶべき内容がよく理解できた。講義のタイムマネジメントやレジュメ資料のクオリティがすばらしかった。 ● 生理学や臨床医学など様々な学問の知識を身につけることができたから。 ● 後になっても役立つ知識が含まれていた。 ● 人体解剖を行い、献体いただいた方への感謝を感じた。 ● 精神的・知的に得るものがあまりに多かった。 ● どの教員も興味を引く話をしていて。 ● 難しいけれど面白かったから。

看護学科	
科目名	「医療社会学」、「中国語 a・b」、「解剖生理学Ⅱ」
理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学の学びというものはこのようなものだと実感した。 ● 先生の話が上手で、上手く考えさせられる授業でした。 ● 語学だけでなく、その土地の話が合って興味深かったから。 ● 授業が分かりやすい、興味深いから。 ● とても印象に残る講義だった。 ● 工夫がたくさんで先生が優しかったから。

改善してほしいとする科目の主な理由

医学科	
	<ul style="list-style-type: none"> ● レポート内容が、講義内容の理解を深めるものでも広げるものでもないように感じた。特に最終課題では科目との関係を見出すのも難しかった。レポート提出に際して定められた規定をクリアすることだけに労力を費やした。レポート内容の再検討を求めたい。 ● 学校の WebClass を利用してほしい。迷惑メール扱いになり、課題開講通知が送られてこないことがあり、教員側もしっかり対応してほしい。 ● 指示が二転三転する。 ● 試験の範囲、量をもう少し考えて欲しい。
看護学科	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 何もわからないまま進んだ。 ● 精神的に追い込まれたから。 ● Zoom で時間内に終了しないことが多々あった。 ● 時間で区切って、何をやるのかが事前に分かったのは良かったが、グダグダして結局何をしているのかよく分からなかった。

設問 73 特に、印象に残っている教員は誰ですか。

印象に残っているとして挙げられた教員および理由の詳細は、本報告書には掲載しないが該当教員には通知した。

印象に残っている主な理由としては、以下のとおりである。

医学科
<ul style="list-style-type: none">● 講義がとてもわかりやすく、レジュメも素晴らしい。本学は学生思いの先生方が多いが、群を抜いて学生に寄り添ってくださるため。● 医学生女子として憧れる生き方をしてらっしゃるから。● 講義マネジメント、レジュメ、試験問題どれも素晴らしかった。全てにおいて無駄がなく、尊敬した。● 講義はスパルタだったが、後々まで知識が役立っているため。● 生徒のことをよく考えていらして、将来や人生について、また学生生活の過ごし方など様々な話をして下さった。
看護学科
<ul style="list-style-type: none">● 授業が大変分かりやすく、ユーモアあふれるものであったから。● 質問に丁寧に応えてくれる。ほめてもらえるから。● 講義は分かりやすくおもしろく、一度友達と遊びに行ったとき話してとても変わっていて印象的だった。● 質問や悩み向き合って一緒に考えてくれたから。授業を受けるたびに前向きな気持ちになった。● いろいろな興味深いお話を聴けたから。

設問 74. 本学に対する満足度と主な理由

医学科		2～6年	
回答者数		95	100.0%
教育内容	満足	25	29.4%
	まあまあ満足	48	56.5%
	やや不満	7	8.2%
	不満	3	3.5%
	分からない	2	2.4%
	未記入	10	
学習環境 共用施設	満足	24	27.9%
	まあまあ満足	41	47.7%
	やや不満	17	19.8%
	不満	3	3.5%
	分からない	1	1.2%
	未記入	9	
学生支援	満足	20	23.5%
	まあまあ満足	38	44.7%
	やや不満	13	15.3%
	不満	7	8.2%
	分からない	7	8.2%
	未記入	10	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【教育内容】

満足と回答した者が記載した主な理由
* 編入生を多数受け入れているという点に大満足。日本唯一のメディカルスクールの存在に感謝のみです。
* けっこう幅広く勉強できたから。
* 対面とオンライン両方実施されているのはありがたかった。
* 講義の難易度がちょうど良い。
* 大変考えて下さっているカリキュラムだと感じられるため。
* 正直イマイチと感じている教科もあるが、色々な事を熱心に教えてもらえる。
* オリエンテーションと前日開講科目のみの受講であるが、教員の熱意や大学のバックアップ体制の親切さを感じたから。
* WebClass でカラーの PDF での資料配布があればなお良いと思います。
* 不満な点は無いです。

まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 成績が不当な科目がある。 * 予想通りだったから。 * 勉強になっている。 * レジュメの内容がしっかりしている。ただ、検索性は悪い。 * 特段の不满はない。 * 1年時の一般教養科目の授業内容が医学や医療倫理に関連した内容に工夫されていて良かった。 * 専門課程を学びはじめるのが遅い。 * 他大学がどういう内容を学んでいるか分からないが、有意義な講義が多く充実している。 * 講義を忘れていた先生がたまにいる。 * 他の医学部より劣っているとも思われないため。
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 1年でもう少し専門科目をとり入れてほしいから。 * 専門課程をつめこみすぎだと思う。 * 科目同士あるいは教室同士の連携がとれていないと感じる。
不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 授業が分かりづらく、面白くない。別の教材で勉強した方が伸びる気がする。(臨床科目全般)
分からないと回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 現時点ではまだ何とも言えない。 * 他大学の教育内容を知らないため比較できないから。

【学習環境・共用施設】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 学生課の人の対応が素晴らしいと毎回思う。いつもありがとうございます。 * 自分の居場所を見つけたから。 * 図書館、MMC等、過不足なく大変満足しています。 * 講義資料を紙媒体で配付してくれるから。 * 学内ネットサービスが使えたり、無料で各種図書が閲覧できたり、勉強スペースも確保できるので満足している。 * いつも活用させていただき、充実していると感じるため。 * 工事が進みきれいになったと思います。 * 私が大学で勉強をする上で、不足な点は無く大いに活用したいと思ったから。 * 不満な点は無いです。

まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由

- * 図書館をもう少し長く開いてほしい。
- * 図書館の利用時間は早く通常時に戻していただきたいです。
- * A講義室を使用していた2年後期の時は講義室内がスシ詰めであり良い環境とは思えなかったが、コロナ対策のことも有って今年はゆとりを持って座れて良かった。図書館が使いやすい。対面とオンラインのハイブリッドが良かった。
- * 特段の不満はない。
- * 自習できるスペースを増やしてほしい。
- * いまだに使ってないところがあるから。
- * 会話できる勉強スペースがもう少しあれば良いと思う。
- * 図書館の自習スペースが広く、いつでも開放されていて利用しやすい。
- * 図書館の開館時間が元に戻ってくれることを望みます。
- * コロナ禍で仕方ないとは思いますが図書館使用がもう少し長く（延長していただきましたが）できるとありがたいです。
- * スライドがたまに見にくいからです。
- * コロナ以前はMMCが24時間利用できたため。
- * WebClassでPost-CC OSCEの内容が確認できる。学内のまるっとからでないともアド検索できないのが不便かもしれない。
- * 図書館などがいつでも使えるため、テスト前等に勉強できた。

やや不満と回答した者が記載した主な理由

- * 図書館を24h使えるようにしてほしい。
- * 勉強場所が少ない。
- * 図書館の開館を24時間にしてほしいから。
- * 勉強スペースを増やしてほしい。
- * 学食が高く、独占状態になっている。コスパが悪い。
- * sumswirelessが学内で使っていてつながらなくなることがよくある。図書館の資料が古いものが多い。食堂や図書館は結局密になっている。
- * 去年は施設の利用があまりできなかった。24h開いてる図書館がよかった。
- * 図書室の自習スペースが少ない。
- * 図書室の机がよく満員になっている。

不満と回答した者が記載した主な理由

- * 大学院生、教職員のみ図書館の時間外利用が許されていることに納得がいかない。
- * 長時間自習のできるスペースが少ないから。
- * Wi-fiが弱いところが多い。

分からないと回答した者が記載した主な理由

- * あまり大学の施設で勉強しないため。

【学生支援】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 学生課の方、いつもありがとうございます。* 滋賀医大独自の学費免除制度は素晴らしいと思います。* 丁寧な対応。* 親身になってくれるため。* いつもお世話になっているため。* いつも体温管理のメールを送って下さるからです。* 質問等へ親切にご対応いただいているから。* 不満な点は無いです。
まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 特段の不満はない。* 健康診断のごたつきなどから。* 学生課に分からない事を聞いたり確認しやすく良かった。* 不満ない。* 時間割をきちんと書いて下さい。早めに連絡下さい。* 教職員の方々がとてもよくして下さいっているため。* 学内メールや Zoom が充実。
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 連絡が遅いから。* 福利棟が貧弱。* MicrosoftOffice の大学単位での加入をしてほしい。発表の機会で、PowerPoint が使えないのは不便である。* 教員間で守秘義務が守れていない。* 証明書の発行に手間がかかる。自動発行機を導入してもらいたい。食堂が不味い、高い、遅い。* 学生課の方の対応が効率的でないと思うことが多々あるため。* 就職活動に関してもっと支援があると嬉しい。(特に今年はインターンなどが中止となっているため)
不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 連絡が遅い。(特にシラバスや時間割)* 山の上であり、バスなどが不便なのに駐車場がないため、自習や研究の時間が限られる。* 連絡が遅い。同じ係の中でも人によって言うことが違う。* 学生課の情報伝達が遅いから。* 情報共有が遅すぎる。授業の予定関係をきっちり確定・統一してほしい。時間割。* 授業料減免の申請をする対象から漏れている層があり、不公平に感じている。* 学生課の対応に不安になることが多い。
分からないと回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 具体的な事例がわからないから。* 生協の職員さんは親切でとても良いが、学生課は少し足を運びづらい雰囲気が漂っている。* よく分からない。

看護学科		2～4年	
回答者数		46	100.0%
教育内容	満足	9	20.0%
	まあまあ満足	31	68.9%
	やや不満	3	6.7%
	不満	0	0.0%
	分からない	2	4.4%
	未記入	1	
学習環境 共通施設	満足	8	18.2%
	まあまあ満足	24	54.5%
	やや不満	11	25.0%
	不満	0	0.0%
	分からない	1	2.3%
	未記入	2	
学生支援	満足	7	15.9%
	まあまあ満足	17	38.6%
	やや不満	13	29.5%
	不満	1	2.3%
	分からない	6	13.6%
	未記入	2	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【教育内容】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 広く深く、専門分野を学ぶことができるため。(各専門の先生がオムニバスで講義していただける等) * 先生方も授業を大切にしているのが伝わったから。 * 授業がわかりやすいから。 * 基礎から学べるから。 * 自分のためになったから。 * 幅広い知識が身につくから。 * やりたい看護に関する勉強を何不自由なくできているから。 * オリエンテーションでの内容は充実していたから。

まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * ときに、この科目は必要なのかと感ずることがありますが、ほとんど役に立つと思うから。 * 3回前期の授業が新型コロナの影響で全てオンラインの授業になったが、実技系の科目もあったので学校にも行きたかったから。 * しっかり学べるため。 * 少し改善してほしいところもありましたが全体としてはよかったです。 * 分かりやすいため。 * 昨年度は看護技術の演習があまりできなかったから。 * 時短授業だったので、分かりづらい部分がありました。 * 教員の方がそれぞれ力を入れて下さっているから。
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 多すぎる。大変。 * 講義などの連絡が遅い。3分前にメール送られても対応できません。
分からないと回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 他と比べてないから分かりません。

【学習環境・共用施設】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 図書館、食堂など夜まで一人でも皆とも勉強できる場所があるから。 * コロナウィルスの影響がある中、授業が不自由なく取り組めるようにがんばってくれたから。 * 図書館や食堂を利用しているが、とても使いやすいから。 * 自主勉強をする時に、図書館の自習室をはじめ勉強する環境が整っているから。 * 図書館を利用できるため。
まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * 図書館の開館時間を長くしてほしい。 * 図書館などがあるため。 * 特に不便に感じたことはないから。 * 環境面で困っていることは特にないから。 * レンジやパソコンが使えるから。校舎をもう少しキレイにしてほしい。 * webシステムが充実しているから。WebClassと履修登録が連携していればなお良いと思う。 * 整備されて徐々にきれいになっているから。 * アクセスがしにくいです。
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> * かなり密になっている。 * 購買の商品を充実してほしい。 * 看護第1講義室の机とイスが使いにくい。 * 昨年度は機材トラブルが多かったため。 * 食堂せまい。 * 時間制限があった。 * 看護学科棟が離れていて不便であるため。

【学生支援】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 生徒—先生間で話せる面談（？）制度が設けられているから。* 学生課の方が支えてくださっているから。* 一度履修変更についてよくわからなかった点について質問させて頂いたとき、丁寧にお答え頂いたため。* 学生課の方の対応がきめ細やかであるから。
まあまあ満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* WebClass やインターネット関連のものの説明がもう少し詳しくほしい。* 就職の支援をもう少ししてほしいから。* いつでも相談できる雰囲気のため。* こまめにメールを下さるため。
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 連絡が遅いから。* 履修登録における注意点などの説明が全くないまま1年生の履修をしなくてはいけなかったから。* 連絡がいつも急。* 報告が遅い。* 時間割の発表が遅く、予定を立てられないから。* 連絡が遅いことがある。* 休み時間が長すぎると感じました。また、必修の教科で最初と最後の授業をはさむのをなんとかしてもらいたいです…（間のコマが開きすぎる）* 時間割や連絡のメールが遅いと思ったから。
不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 時間割の改善をしてほしいため。通知や成績を出すのが遅いため。
分からないと回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none">* 奨学金制度等受けていないので分からないから。* メール遅い、連絡も遅い、利用していない。* 特に利用したことがないから。

設問 75. 「授業評価実施報告書」

医学科	2～6年	
回答者数	95	100.0%
印刷物で読んだ	2	2.1%
ホームページで見た	7	7.4%
知っているが内容は見ていない	23	24.2%
知らない	50	52.6%
未記入	13	13.7%

看護学科	2～4年	
回答者数	46	100.0%
印刷物で読んだ	0	0.0%
ホームページで見た	3	6.5%
知っているが内容は見ていない	7	15.2%
知らない	33	71.7%
未記入	3	6.5%

感想・意見

- * もっと基準なりを明確にしてほしい。
- * 告知された記憶に乏しい。
- * 量が多すぎて全部読む気になれない。書いていることで何か前向きな変化につながったのでしょうか？
- * 分かりやすかった。
- * 聞いたことがないから。

2021 年度

学修・学生生活実態調査

自由記述編

自由記述編については、学生から提出された大学への意見・要望と、関係部署からの回答を掲載しました。今回提出された意見・要望は、大学の改善についての真摯な提案が数多く見受けられました。学生諸君からは今後ともボトムアップ型の組織改革に繋がるような、建設的で積極的な意見を期待しています。

1. 講義等の遠隔形式併用の継続について

学生からの意見

- ・オンラインと対面の併用は通学時間がかかる私にとっては非常に有難いです。オンラインで可能なものについては、より取り入れていただければ良いと思います。
- ・必ずしも対面を要しない講義や行事を遠隔にさせていただきたい。登下校の時間、交通費を節約できるだけでなく、渋滞も事故も減り、学内外に恩恵があるのではないだろうか。

回答：学生課学部教育支援係

本学における遠隔授業については、2021年末に実施した「第2回 学部学生への遠隔授業に関するアンケート調査」の結果からも多くの学生さんに満足いただけていることを認識しています。しかし、本学では「原則対面形式での授業運営」を通知していることから推測いただけるかと思いますが、「コロナ禍において学修機会を損なわないこと」を1番の目的として遠隔授業を実施しており、登下校の時間節約や学生の交通費節約、寝過ごした際の代替手段などの目的で実施しているわけではありません。そちらの認識について誤解のないようご理解ください。

今後の遠隔授業の実施方針ですが、現在行政においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学修機会の確保のために急速に展開した遠隔授業について、遠隔教育の質保証を主な論点として審議が行われており、遠隔授業のためのガイドラインの策定などが検討されています。本学においても、遠隔授業について一定の学修効果が認められるケースもあり、授業計画の中でより有効に活用していけるよう学生の皆さんの声を聴きながら検討を行いたいと考えています。

2. 講義の内容や所要時間について

学生からの意見

- ・講義で説明しないといけない内容は多いが、割当てられている時間が少ない中で、出来るだけ内容を絞り、テスト、国試、医師としての実務に役立つ事項を効率良く教えて頂ければと思います。
- ・授業が終わる時間を短くして欲しいです。USMLEの勉強や部活、社会経験の為のバイトなどしたいことが沢山あるので、15:00 くらいまでに全ての授業が終わるようになれば、学びの幅が広がります。授業の時間が増えてもさぼる人はさぼるし、勉強する人は勉強するので、それなら自分の勉強時間を増やさせてほしいです。

回答：学生課学部教育支援係

6年間の教育課程の内容については、皆さんに回答いただいている授業科目アンケートの結果や、医学教育モデル・コア・カリキュラム（以下、コアカリ）との整合性、また、世界医学教育連盟（WFME）の国際基準への適合状況を総合的に鑑みて改善を企画しています。

現在、行政では令和6年度から適用となるコアカリを令和4年度中に改正すべく審議が行われている状況であり、本学においては、改正後のコアカリの内容や社会から医師養成に求められている資質・能力をもとに、令和4・5年度に医学科教育課程の見直しを計画しています。

次年度以降の教育課程見直しに際しては、ご指摘のとおり増大していく学修内容を6年間で効率的に修得できるよう、また、USMLE受験準備や有意義な課外活動の時間を確保するためにも、体系的な教育課程を提供できるよう審議を行います。審議は、医学・看護学教育センター学部教育部門医学科カリキュラム改革専門委員会において行いますが、当委員会は学生委員にも複数参加いただいているものですので、皆さんにも積極的にご協力をいただければと考えます。

3. 講義資料の配付方法について

学生からの意見

- ・ WebClass での資料配布はよいと思います。PDF だとカラーだし、拡大縮小もでき便利だと思います。
- ・ 来学して受講する際はやはり紙の資料を用意してほしいです。自分で印刷するとやはりコストがかかってしまいます。
- ・ レジюмеおよび説明会等の配布資料は完全に電子化し、希望者だけが各自で印刷できるようにしていただきたい。その分、レジюме専用の印刷ポイントを設けるかポイントを増やす、または進級後に繰り越せるようにすれば、紙を必要とする学生も納得するようになる。さらに紙の大量廃棄や印刷運搬の作業もなくなり環境にも財務にも労務にもよいだろう。

回答：学生課学部教育支援係

2020 年度に早期施行された「授業目的公衆送信補償金制度」の活用により、授業における配付資料の多くは WebClass で配付しており、希望者は自由に印刷して利用できるようになっています。これは、遠隔授業の影響もさることながら、従来授業用資料の電子データ配付を要望する声が多かったことにも端を発しています。

紙媒体の講義資料は、現在医学科第 3・4 学年の系別統合講義は全員分印刷していますが、かなりの量の資料が配付されないまま廃棄されています。これらの現状を鑑みれば、今後、必要最低限の資料以外は WebClass での電子データ配付へ移行していくことが予想されます。

資料の印刷については、MMC においてポイント制で印刷することが可能ですのでご活用ください。

4. 試験期間について

学生からの意見

- ・ 看護学科 3 年後期に試験が最後の授業が終わってすぐ翌週から行われていたが、最後のタームの授業と接近しすぎており、勉強時間が少し足りなかったため、4 年前期のように毎授業終わって少し間を開けてからテストという形にするか、テスト時期を少し遅くして頂くことを考えてもらえたらと思いました。

回答：学生課学部教育支援係

看護学科第 3 学年後期の試験期間については、臨地実習の期間と重複するため、担当教員と調整のうえ少しでもゆとりを持たせた学年暦の実現可能性について検討いたします。

5. 時間割等の早期通知について

学生からの意見

- ・時間割変更や予定はもう少し早く教えて欲しいです。
- ・授業時間割を早く出していただきたいです。バイトのシフトを出せなかったり、スケジュールを立てられないので困っています。
- ・大学に関する情報をもっと早く発信してほしいと思います。早めに教えてもらえないと計画的に予定を立てにくいです。
- ・連絡を早くしてほしい。

回答：学生課学部教育支援係

- ・学年暦・時間割の公開時期については、大学全体の業務スケジュール（シラバス作成・非常勤講師雇用手続き、etc...）と相互に関連するため、大幅な見直しは難しいですが、年明けには皆さんに公開できるよう可能な限りで調整を行います。
- ・時間割変更等の連絡については、教員から連絡があった時点で皆さんにお伝えしています。本学の多くの教員は臨床業務を兼務していることもあり、突発的な休講が発生しうる環境であることをご理解いただけますと幸いです。
- ・その他、連絡が遅かったと感じた事項があれば、その都度お知らせください。次回の通知へ向けて改善を検討いたします。

6. スクールカレンダーの公開場所について

学生からの意見

- ・スクールカレンダーまでの経路を短縮していただきたい。

回答：学生課学部教育支援係

スクールカレンダーを大学 HP に掲載しましたのでご利用ください。

(掲載場所)

- 教育 > 医学部医学科（教育活動）

<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/activities-medicine>

- 教育 > 医学部看護学科（教育活動）

<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/activities-nursing>

また、2022年度から学生ポータルサイトが開設予定です。学生ポータルサイトのトップページにはスクールカレンダーが表示されるようになるため、利便性はかなり改善されるのではないかと考えています。ただし、学生ポータルサイトの学外からの利用開始は、学内の情報基盤の設定に一定の時間を要するため、2023年度からを予定しております。

7. Post-CC OSCE の練習場所について

学生からの意見

- ・Post-CC OSCE の練習場所を提供して頂けると有難いです。心電図や縫合など、一人では対策が難しい技術を、機器を使って行う方が効率的に皆で試験対策できるのではないのでしょうか。

回答：学生課学部教育支援係

自主学習場所の提供については、スキルズラボの開放など、今後医学・看護学教育センターを中心に検討を進めたいと考えていますが、Post-CC OSCE の位置付けについては正しくご理解いただきたいと思います。

医学科の学生は、診療参加型臨床実習を通じて医学教育モデル・コア・カリキュラムに定める37の症候の経験や基本的臨床手技の修得を目指すとともに、診療録（カルテ）の記載や病歴聴取・身体診察などの13の役割を指導医から信頼を受けて任せられるようになることを目指します。臨床実習終了後には、前述の症候をもとにして臨床推論能力がどの程度培われたのか、また実習を通じて基本的臨床手技をどの程度修得できたのかを評価するためにPost-CC OSCE が実施されます。Post-CC OSCE の実施趣旨に鑑みれば、「試験対策」とは日々の診療参加型臨床実習そのものであることがご理解いただけるのではないのでしょうか。

そのためには、臨床実習カリキュラム冊子に掲載している37症候と診療科のマトリクス表や基本的臨床手技の一覧を活用し、各診療科において「この症候を経験したい」「この手技を教えてほしい」など明確な学修目標をもって能動的に実習に取り組む姿勢が期待されます。

8. 必修科目の記載方法について

学生からの意見

- ・地域医療枠の内容として地域論と全人的医療が必修科目であることを記載してほしい。

回答：学生課学部教育支援係

地域医療枠・地元医療枠の学生については、「一部の選択科目を必須で履修する」という取扱いになっています。この取扱いについては、十分な周知が出来ておりませんでしたので、今後、履修要項への追記や当該学生用の別途配付資料を作成するなどして対応いたします。

9. 成績優秀者への表彰・経済支援について

学生からの意見

・学習に張り合いが出るため、学年首席と次席は学費免除や表彰するなどの制度があると良いと思います。

回答：学生課学生支援係

学業成績の優秀な学生を対象とする奨学金については、平成17年度から令和2年度まで実施されてきました。

この奨学金は、滋賀医科大学開学30周年記念事業の一環として開始され、寄附金の一部を財源としていたものですが、財源枯渇のため廃止されました。

今後、財源が確保できましたら検討していきます。

10. 大学独自の授業料減免制度について

学生からの意見

・令和2年度以降の学士編入学入学生に対する授業料免除の対策をご検討いただければと思います。私は両親の借金や離婚などにより仕送りは一切なく各種奨学金に頼らざるを得ない状況です。JASSOの第一種と第二種の上限いっぱいには貸与を受け、さらに地方公共団体の奨学金（一定条件で返還免除）もやむなく貸与を受けています。お金がない為進路も自由に選択できず、いつも心の中で仕方がないと自分に言い聞かせていますが、少しでも将来の借金が減ると嬉しく思います。私事ばかりで申し訳ありません。他の学生も両親の収入が多くてJASSOの奨学金が貸与できず、アルバイトに明け暮れている人もいます。そういった学生に対しても授業料減免制度の拡充は喫緊の課題であると私は考えています、少しでも耳を傾けて頂けると幸いです。よろしく願いいたします。

回答：学生課学生支援係

高等教育修学支援制度（以下新制度）が開始したことにより、令和2年度以降に入学し、新制度の対象外となる学生は、授業料減免の支援を受けられず、困っておられることと思います。

ただ、新制度の対象外となる学生に対する支援に係る財源を確保することが難しく、大学独自制度の拡充は難しいことが現状です。申し訳ございませんが、ご了承ください。

11. 奨学金に関する案内について	
学生からの意見	
	・奨学金の申請受付等の情報をメーリングリストで周知するのではなく、WebClass等のポータルサイトで閲覧できるようにするのが良いと思います。
回答：学生課学生支援係	
	ご意見ありがとうございます。2022年度から学生ポータルサイトが開設予定です。現在、学生課からの各種お知らせ等をポータルサイトにて閲覧できるよう、調整中です。 なお、大学に案内のあった奨学金情報の一覧については、大学ホームページに公開していますので、そちらもご活用ください。 (掲載場所) 大学ホームページ≫教育・学生支援≫学生支援≫奨学金等

12. 国試対策・就職支援について	
学生からの意見	
	・国家模試の受験料が最初に払ったお金で賄われたのはありがたいと思います。国試やマッチング対策も充実させてください。
回答：学生課学生支援係、学生課学部教育支援係	
	現在大学では、医学科の国試・就職対策として以下の支援を行っています。 その他必要であると考えられる支援方策について、学生目線でのご意見をいただければ随時検討できますのでご相談ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習中に3回、キャリアセミナーを開催 ・模試の成績が振るわない学生やCBT下位学生への学習指導（定期的な個別面談） ・第6学年において、正課教育として公衆衛生分野の国家試験対策講座を開講 ・卒業試験を国家試験に準拠した日程・出題形式で実施 また、看護学科の学生に対して、年3回就職活動対策講座を実施しています。

13. キャリア教育について	
学生からの意見	
	・私はいまだ将来の夢が定まっていないので、何か夢、目標が見つけれられる企画があれば良いなと思います。
回答：学生課学生支援係	
	看護学科の学生を対象に、就職活動対策講座を実施しています。 看護師への就職対策がメインとはなりますが、就職情報の収集方法や自己分析の方法などを取り扱っており、医療職に就かない方にも、参考になる内容かと思います。 第1回目（5月頃開催）は低学年から参加可能ですので、よろしければ参加してください。

14. 学生の自動車通学・駐車場利用・駐輪場について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・車通学を解禁してほしい。せめて土日の駐車場の開放をお願いします。 ・車で通学を3、4回生あたりから許可してほしい。 ・学生の自動車通学を解禁してほしい。 ・駐車場を増やしてほしい。 ・駐輪場の鳥の糞がいやです。
回答：学生課学生支援係、施設課
<ul style="list-style-type: none"> ・本学構内駐車場の維持管理については「受益者負担」を原則としており、附属病院外来者からも料金を徴収していることから、駐車場を開放することは適当ではないと考えます。加えて、管理上（本学関係者以外の駐車、廃棄車両等の放置等）の観点からも適当ではないと考えます。無料開放の対応は以上の理由から困難かと思いますが、割引利用等の可能性も含めて今後検討させていただきます。 ・現在、駐車場は外来者・教職員・実習等の特殊な事情により車通学が必要な学生に駐車を許可しており、余剰がない状況です。駐車場の拡充となると、莫大な費用が必要となり、大学の財源のみでの対応は難しく、断念した経緯があります。仮に整備することとなれば、駐車料金の引き上げ等、受益者の負担が増大することが予想されます。 ・駐輪場の清掃については、現在行っておりませんでしたので、今後の検討課題とさせていただきます。

15. 食堂について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・食堂の仕切りを透明にしてほしい。
回答：滋賀医科大学生協
<p>ご意見ありがとうございます。生協の二見です。</p> <p>食堂の仕切りについては学生課と話し合った結果、白色の仕切りにしています。</p> <p>理由としては透明にした場合飛沫の汚れが目立ち、必要以上に頻繁に消毒をする必要性が出てきます。また、対面での会話が増える可能性があるため、現在のコロナウイルス感染症が落ち着くまではマスクを外しての会話については推奨されていないため、敢えて前が見えない白色にしています。</p> <p>引き続き、コロナウイルス感染症への対策と一緒に取り組みましょう。</p>

16. 福利厚生施設について
学生からの意見
・色々な方と交流できる場がほしい。
回答：学生課学生支援係
令和3年度より、一般教養棟1階に学生ラウンジを新設し、様々な用途で使用していただけるようになっております。交流の場としても、是非ご活用ください。 また、開学50周年記念事業として、施設設備の改修を含めた、様々な企画を予定していますので、積極的に学生の皆様のご意見をお寄せください。

17. トイレ設備について
学生からの意見
・全ての個室トイレ（特に図書館）の壁に荷物を引っ掛けるフックを取り付けて欲しい。
回答：学生課学生支援係
ご意見ありがとうございます。今回特にご要望のありました、図書館のお手洗い荷物掛けについては、担当の情報課にお伝えさせていただきました。大学設備全体については、直ちに実施する予定はありませんが、今後、設置について検討させていただきます。

18. 自販機・購買について
学生からの意見
・看護学科棟の近くに食べ物を買えるところがほしい。 ・自動販売機を増やしてほしい。 ・1Fの自販機の内容にあったかいものを含めて下さい。
回答：会計課
・看護学科棟の近辺への食べ物を買える施設の新設に関しては、本学の規模（学生、職員などの利用者数）では十分な売上を見込むことができないため売店を設置することは困難です。福利棟の食堂や売店をご利用ください。 ・自動販売機の増設に関しては、自動販売機の設置への条件として、設置業者から「一定の収益を見込める周辺環境であること」が設置条件とされています。具体的な設置場所をお寄せいただければ、設置業者を含めた検討は可能と考えます。 ・寒い時期には各自販機にてあたたかいドリンクの提供もありますのでご確認ください。

19. 学内設備について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・看護学科の設備を良くして下さい。プリンターを新しいものに変えて頂きたいです。 ・看護学科棟 1 階のプリンターが故障しているので新しくして下さい。
回答：学生課学生支援係
看護学科棟のプリンターは 1 階のラウンジ部分と 4 階の就職コーナーに設置しております。ご意見を基に点検を致しましたが、稼働に問題は見られませんでした。不具合がありましたら、お手数ですが学生課学生支援係までお知らせください。また、看護学科棟のラウンジ部分については、一部設備の改修が予定されています。是非ご活用ください。

20. 図書館の開館時間について
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの時代なので仕方ないと思うが、開館の時間をもうちょっと長くしてほしい。 ・夜の図書館は密とは程遠いです。学部学生も時間外特別利用ができる状態に戻していただきたいです。 ・図書館の利用は多くないが、24 時間利用が復活すればよいと思います。
回答：情報課
現在、学部学生も時間外特別利用（24 時間利用）が可能となっています。感染対策に留意いただき、有効に図書館を活用してください。

2021 年度滋賀医科大学 学習・学生生活実態調査報告書

発行年月：2022 年 3 月

編集発行：滋賀医科大学 医学・看護学教育センター
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
Tel 077-548-2072 (学生課)

